

[ 第 1 号議案 ]

## 1-1 . 2011 年度事業報告書

- 1 . 概況：重点活動
  - 2 . 会員の異動状況
  - 3 . 会議等に関する事項（総会，理事会，各種委員会）
  - 4 . 実施事業 1：調査研究活動（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）
  - 5 . 実施事業 2：人材育成（定款第 4 条 1 項 4 号）
  - 6 . 実施事業 3：学術講習会の開催（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）
  - 7 . 実施事業 4：会誌の刊行（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）
  - 8 . 実施事業 5：論文誌・学術図書等の刊行（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）
  - 9 . 実施事業 6：標準化活動（定款第 4 条 1 項 3 号）
  - 10 . 実施事業 7：国際活動（定款第 4 条 1 項 5 号および 2 号）
  - 11 . その他：関連学協会との連絡および協力（定款 4 条 1 項 6 号）
  - 12 . 法人運営
- 付 1 . 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）
  - 付 2 . 研究会および研究発表・学術講習会等一覧
  - 付 3 . 刊行物（機関紙・図書）一覧
  - 付 4 . 国際会議一覧
  - 付 5 . 表彰等

# 2011 年度 事業報告書

## 1. 概況および重点活動

東日本大震災後の混乱や欧州債務危機、歴史的円高による経済状況の悪化などにより学会運営への影響が懸念されたが、シンポジウムおよび連続セミナーは開催地や時期の変更で対応を行い、震災復興支援関連では各種イベントにおける特別講演の実施、会誌・論文誌での特集等の掲載を行うなど、多くの学会員の活発な活動に支えられ、結果的には会員減少傾向に改善がみられた(2007年度685名減に対し2011年度は282名減)。さらに全国大会でも50周年記念大会に次ぐ発表件数(今回1,478件、50周年記念大会1,773件)を記録するなど明るい兆しが見える年度となった。

これら各種活動の増加に加えて財政の健全化に取り組んだ結果、2011年度は黒字化を達成した。

### 1.1 社会環境の変化への新たな取り組み

#### (1) 東日本大震災復興支援の推進

震災復興支援運営委員会を設け震災復興支援を推進した。

震災復興デザインコンテストの実施(12.1(1)項参照)

震災関連の取り組みに対するソフトウェアジャパンアワードの贈呈(6.2(2)項参照)

刊行物での関連特集等の企画(7項,8項参照)

各種イベントにおける震災復興支援への対応(4項,6項参照)

#### (2) 情報科学技術開発に関する政策提言の検討推進

政策提言WGを設け、情報科学技術開発に関する国の施策などについて提言すべき時に速やかに対応できるような体制を整えた。

#### (3) 教育ビジョン2011の取り纏めと公表(5.4項参照)

教育ビジョン2011「誰もが情報技術に主体的に向き合う社会の実現をめざして」を2011年12月に公表し、文部科学省など関係機関に提出した。

#### (4) デジタルコンテンツの取扱い・オンライン刊行物による新たなサービスの検討推進

マルチメディアコンテンツを含む論文(マルチメディア埋め込みpdfの扱い)、情報学広場の本格運用による電子図書館の統合、購読員・法人会員向けCDの廃止とオンライン化等について実施に向けた検討を行った。

### 1.2 実務家・ITプロフェッショナル向け活動の強化

#### (1) 活動強化のための運営体制の見直し・改善

実務家・ITプロフェッショナル向け活動に関する運営体制の見直しを実施した。2012年度から現行組織を改組するとともに、新たに活動全体を統括する組織を設置して活動の強化を図る。

#### (2) 論文誌「デジタルプラクティス」の特集企画の充実、安定刊行のための体制整備(8.1項参照)

論文誌「デジタルプラクティス」について、特集企画の充実、査読委員の確保など、安定刊行のための体制整備等を行った。

### (3) 高度 IT 人材向けの資格認証制度の実現に向けた制度設計 (5.3 項参照)

制度設計 WG での制度試案の作成と並行して、制度検討 WG で試行に向けたビジネスモデルや運用などの検討を実施した。会誌での高度 IT 人材特集や論文誌「デジタルプラクティス」の特集を通じて制度への幅広い認知と意見収集を図った。

### 1.3 学会誌の充実に対する取り組み (7 項参照)

読者に関心の高い震災関連企画に重点的に取り組むとともに、夏休み・冬休み特集など季節感のある誌面、著名人による巻頭コラムや連載など「読まれる学会誌」を目指した。

### 1.4 中長期計画を踏まえた学会運営体制の充実・改善 (12 項参照)

#### (1) 理事担務の見直し・改善

実務家・IT プロフェッショナル向け活動の強化を図るため、技術応用担当理事を新設した。国際活動については、研究会活動のグローバル化を重点的に推進するため調査研究担当理事の担務とし、国際担当は廃止する。新たな役員選挙区分は 2013 年度役員選挙から適用する。

#### (2) 中長期計画の具体化と推進 (中長期計画は「2012 年度事業計画 p.85」参照)

学会の魅力・価値の向上を目指して中長期計画を策定し、計画に基づき諸施策を推進した。

#### (3) 諸活動の評価・改善

関連データの収集・分析を継続し、諸活動の評価・改善に努めた。

第三者機関であるアドバイザリーボードの助言を得て、各事業の企画や運営の改善に努めた。

## 2. 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減数 -	備考:2011 年度の異動				
	2011 年度末	2010 年度末		入会		退会		資格 喪失
名誉会員	37	37	0	2	正会員から異動	2		
正会員	16,907	17,189	-282	512 746	学生会員から異動	1,111 2	名誉会員に異動	427
学生会員	2,446	2,448	-2	1,276		510 746	正会員に異動	22
個人会員 計	19,390	19,674	-284	2,536		2,371		449
賛助会員 (口数)	246 (537)	255 (536)	-9 (1)	17 (28)		26 (27)		

\* 入会には復会、再入会を含み、退会には死亡退会を含む。正会員には終身会員(310名、前年度273名)を含む。

---

### 3. 会議等に関する事項（総会，理事会，各種委員会）

---

総会，理事会をはじめ，法人運営，調査研究活動，人材育成活動，事業活動，機関誌／出版活動，標準化活動，国際活動に関する各種委員会を開催した。詳細は付録1（p.15～p.29）に掲載する。

---

### 4. 実施事業1：調査研究活動（定款第4条1項1号および2号）

---

#### 4.1 研究発表会，シンポジウム・講習会等 [所掌：調査研究運営委員会]

38 研究会，2 研究グループにより活動し，研究発表会（157 回）およびシンポジウム等（24 回）を開催した。詳細は付録2（p.30～p.36）に掲載する。

前年度参考：36 研究会，4 研究グループ，研究発表会 140 回，シンポジウム 22 回

#### 4.2 その他

##### (1) 領域制の見直し新規分野の開拓

領域の見直しを行い各領域の位置づけを明確にし，「フロンティア領域」は「メディア知能情報領域」と名称を変更した。

新規分野開拓のため，「放送コンピューティング研究グループ」は「デジタルコンテンツクリエイション研究会」として新たに活動することとなった。また，次年度から新たに「会員の力を社会につなげる研究グループ」が活動する。

##### (2) 調査研究活動における震災復興支援関係の対応

シンポジウムおよび研究発表会で予定されていた発表のうち，震災により行われなかったものについて，各研究会は希望者に対し本年度の研究発表会で発表の機会を設けた。

東日本大震災に関連する防災・災害救助に関連するイベントとしては，複数の研究会がシンポジウムなどでの特別セッションの開催を行った。以下に関連イベントの一部をあげる。

- ・先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS2011（5月25日-27日）  
招待講演「地震津波シミュレーションの現状と課題：東北地方太平洋沖地震発生を受けて」
- ・画像の認識と理解シンポジウム MIRU2011（7月20日-22日）  
特別セッション「震災復興へのビジョン」
- ・情報アクセスシンポジウム IAS2011（9月14日）  
テーマ「災害情報を共有するための情報アクセス技術 ～何ができるのか，日本復興に向けて～」
- ・組込みシステムシンポジウム ESS2011（10月19日-21日）  
パネル「想定外を想定する」
- ・インターネットと運用技術シンポジウム IOTS2011（12月1日-2日）  
テーマ「危機管理の視点から運用技術を考える」

##### (3) 表彰

優れた研究発表や業績等を顕彰するため，山下記念研究賞，長尾真記念特別賞，喜安記念業績賞，若手奨励賞を贈呈した。詳細は付録5（p.44～p.46）に掲載する。

---

## 5. 実施事業2：人材育成（定款第4条1項4号）

---

### 5.1 情報教育カリキュラムの策定・普及 [所掌：情報処理教育委員会]

カリキュラム標準(J07)の普及活動ならびにフォローアップの一環として、シラバスや実践的な情報教育の実態を調査した。

現行の指導要領施行を踏まえ、教科「情報」の2科目を出題科目とするよう、大学入試センターに要望書を送付した(2011年4月)。

初等中等教育における情報学教育の内容の検討する「情報学教育関連学会等協議会」を、本会、日本情報科教育学会、日本教育工学会、教育システム情報学会、情報学教育研究会の関連学会とともに発足した(2011年12月)。

### 5.2 アクレディテーション(技術者教育プログラムの認定) [所掌：情報処理教育委員会]

日本技術者教育認定機構(JABEE)の情報専門系学士課程プログラムの認定審査、および認定プログラムの国際相互承認を行うソウル協定への対応に、本会、電子情報通信学会、電気学会、経営工学関連学会協議会が合同して当たった。また、JABEE認定の社会認知を高める諸活動に参画した。

### 5.3 資格制度 [所掌：ITプロフェッショナル委員会]

資格制度設計WGで、情報処理学会が個人に対して資格認証を行う制度の試案を作成し、制度設計と並行して制度検討WGで試行に向けたビジネスモデルや運用などの検討を実施した。

会誌10月号の特集「高度IT人材育成の軌跡」、デジタルプラクティス2012年4月号の特集「高度IT資格制度」、ソフトウェアジャパン2012のセッション「高度IT資格」開催などを通じて、高度IT人材資格制度の認知と意見収集を図った。

IFIP IP3(International Professional Practice Partnership)との連携に関しては、10月にバンクーバーで開催されたIP3のボードメンバー会議に出席して本会の現状を報告し意見交換を行った。

### 5.4 その他 [所掌：情報処理教育委員会]

#### (1) 関連するシンポジウムや講習会の開催等

付録1(p.36)に掲載する。

#### (2) 「教育ビジョン2011」の取り纏めと公表

教育ビジョンの提言活動の一環として「誰もが情報技術に主体的に向き合う社会の実現をめざして」を作成し、2011年12月に学会Webサイトから公表するとともに、文部科学省など関係機関に提出した。2012年度からは「教育ビジョン2011」の具体的な取り組みの一部を研究グループで実施予定である。

#### (3) 表彰

優れた教育の実践等を顕彰するため優秀教育賞・教材賞を贈呈した。詳細は付録5(p.45)に掲載する。

#### (4) その他

高校教科「情報」関連シンポジウムを開催し、現場の先生との連携の場を設けた。また、小学校・中学校での教育の情報化と情報教育についても各種の試行・支援を続けるとともに、会員の教育への関心を高め、初等中等教育現場への支援の一翼とするべく、学会誌上で教育関連記事「ぺた語義」を掲載した。

大学生，高校生等を対象とした教育活動の活性化の一環として，若手奨励賞を拡大し，2011 年度からは「ET ロボコン」「パソコン甲子園：デジタルコンテンツ部門」を受賞対象とした。

若手奨励賞については，学会 Web サイトからコンテストの開催報告とともに公表する取り組みを開始した。

---

## 6．実施事業 3：学術講習会の開催（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）

---

各開催状況の詳細は付録 2（p.36～p.38）に掲載する。

### 6.1 全国大会 / FIT

#### (1) 第 74 回全国大会 [所掌：全国大会組織委員会]

第 74 回全国大会を 2012 年 3 月 6 日～8 日に名古屋工業大学御器所キャンパスで開催した。本大会では，通常の一般セッション，学生セッションに加えて大会招待講演企画，大会イベント企画，展示会などのイベントを開催した。また，本会のプレゼンス向上を図るべくできるだけ多くの方に参加してもらえよう，前回大会に引き続き通常の有料での大会聴講参加に加えて「大会イベント企画限定聴講参加（参加費無料）」の参加枠を設けた。講演件数は 1,478 件（一般セッション 288 件，学生セッション 1,190 件），総参加者数は 2,864 名であった。

前年度参考：講演件数 1,361 件，総参加者数 3,312 名

また，全国大会における震災復興支援関係の対応は次の通りである。

- ・大会スローガンを「日常の ICT・非日常の ICT」として，招待講演「日常の ITS，非日常の ITS」，イベント企画「震災復興デザインコンテスト」，特別講演「被災一年後の提言」などを実施した。
- ・被災地支援募金箱を会場に設置して募金活動を行った。

#### (2) 第 10 回情報科学技術フォーラム (FIT2011) [所掌：FIT 推進委員会]

FIT2011（第 10 回情報科学技術フォーラム）を，2011 年 9 月 7 日～9 日に函館大学・函館短期大学において開催した。講演件数は 826 件，総参加者数は 1,610 名であった。

前年度参考：講演件数 713 件，総参加者数 1,500 名

#### (3) 表彰 [所掌：全国大会組織委員会]

優れた発表を顕彰するため，全国大会優秀賞・奨励賞などを贈呈した。詳細は付録 5（p.45～p.47）に掲載する。

### 6.2 連続セミナー / ソフトウエアジャパン / プロシン

#### (1) 連続セミナー 2011 [所掌：事業推進委員会]

「コンシューマが切り拓くデジタル化社会の新しい潮流」を全体テーマとし，年度内に，第 1 回「ソーシャルメディアなどによるコンシューマ参加型インターネットサービスの新たな発展」，第 2 回「グリーン ICT によるスマートな社会の創出」，第 3 回「コンシューマサービスの発展を支える要素技術と標準化動向」，第 4 回「スマートフォンとコンシューマサービスの新たな展開」，第 5 回「通信，放送，IT の連携による新たなコンシューマサービスの出現」，第 6 回「センサ，デバイスによる新たな情報と高度交通システム」の全 6 回にわたって開催し，160 名の参加があった。

前年度参考：全 6 回，参加者数 148 名

**(2) ソフトウェアジャパン 2012** [ 所掌：技術応用運営委員会 ]

ソフトウェアジャパン 2012 を、デジタルプラクティスの特集「CIO は決断する（2012 年 1 月発行）」と連携して、同一テーマ「CIO は決断する」で、2012 年 2 月 1 日にタワーホール船堀において開催した。

総参加者数：415 名、スポンサー：5 団体、サポーター：31 団体

前年度参考：参加者数 554 名、スポンサー：8 団体、サポーター：25 団体

また、ソフトウェアジャパン 2012 における震災復興支援関係の対応は次の通りである。

- ・「ザ・ジャパンソフトウェアセッション」において、被災地支援や復興支援に顕著な貢献のあったエンジニア 2 名にソフトウェアジャパンワード（付録 5，p.43 参照）を贈呈し、受賞者の講演を行った。
- ・被災地支援募金箱を会場に設置して募金活動を行った。

**(3) プログラミング・シンポジウム** [ 所掌：事業推進委員会 ]

年度内に 3 回（第 53 回プログラミング・シンポジウム，夏のプログラミング・シンポジウム，第 44 回情報科学若手の会）のシンポジウムを開催した。

**6.3 IT フォーラムの活性化** [ 所掌：技術応用運営委員会 ]

ソフトウェアジャパン 2012 の IT フォーラムセッションにおいて、関連団体との連携イベントを推進した。

情報処理推進機構（IPA），情報サービス産業協会（JISA），日本情報システム・ユーザー協会（JUAS），電子情報技術産業協会（JEITA），先端 IT 活用推進コンソーシアム（AITC），科学技術振興機構社会技術研究開発センター（JST RISTEX）

ソフトウェアジャパン 2012 において、IT メディアエグゼクティブ，日経 BP ITPro，リックテレコムからメディア協賛を得てソフトウェアジャパン 2012 の広報を行った。また，日経 ITPro の Web サイトにデジタルプラクティス特集「CIO は決断する」の執筆者による連載記事を掲載した。

実務家向け論文誌「デジタルプラクティス」との連携を強化した。

高度 IT 人材資格検討 WG との連携を強化した。

**6.4 コンピュータ将棋『あから』強化推進** [ 所掌：事業推進委員会 ]

2011 年 7 月 24 日に電気通信大学において，アマチュアトップクラスでコンピュータ将棋にも造詣の深い古作登氏と篠田正人氏に，相談将棋で当代トップのコンピュータ将棋と対戦していただく公開対局「戦略的なアマトップ合議はコンピュータに勝てるか」を行った。

「あから 1/100 と遊ぼう」と題して CEDEC2011（2011 年 9 月 6 日～8 日，パシフィコ横浜）に出展，「あから 2010」が CEDEC AWARDS 2011 優秀賞を受賞した。

第 74 回全国大会において「コンピュータ将棋はまだ止まらない」と題してイベント企画セッションを開催し，米長将棋連盟会長による一般講演「名人の知とコンピュータの知」も行われた。

2010 年に開発した「あから 2010」の改良と，人間との対戦を通しての現在のコンピュータ将棋の弱点を明確化し，人間のトップに勝つための必要な技術について検討することを目的として電気通信大学と共同研究を行った。

**6.5 各支部による支部連合大会，講習会等の開催** [ 所掌：各支部 ]

付録 2（p.38）に掲載する。

---

## 7. 実施事業 4：会誌の刊行（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）

---

発刊状況の詳細は付録 3（p.39）に掲載する。

### 7.1 会誌「情報処理」 [所掌：会誌編集委員会]

#### (1) 会誌の編集

8 月を除く毎月編集委員会を開催し、会誌「情報処理」第 52 巻 4,5 合併号から第 53 巻 4 号まで、計 12 号（本文 1,692 ページ、広告 68 ページ、平均発行部数 19,487 部/号）を編集発行した。

季節感を出すため、4,5 月号を合併号とし、6 月号以降は発行日を 1 ヶ月早めた。

編集長のもと、記事の構成およびレイアウトを工夫し、役立つ会誌、読みやすい会誌の編集を心がけた。

8 月号に夏休み企画の付録として「あからペーパーモデル」を付けた。1 月号には冬休みチュートリアル「スマートフォンプログラミング 2」を掲載した。

俳優の細川茂樹氏と共同でスマートフォン用アプリの開発を行い、2 月号から連載「細川茂樹アプリ開発プロジェクト」を開始した。その他、「3.11 大震災特別企画」、「べた語義」の連載を開始した。また、著名人による「巻頭コラム」を引き続き掲載した。

解説記事の付録として、サンプルプログラムを Web サイトで公開した。

記事分析のため、1 月号より記事に指標をつけた。

印刷コストや郵送料を勘案し、適切なページ数での編集に努めた。

#### (2) 震災復興支援関係の対応

2011 年 4,5 月合併号から 9 月号まで「3.11 大震災特別企画」を毎号掲載した。

9 月号特集「東日本大震災：危機発生時の対応について考える」、および 2012 年 4 月号特集「日本を元気にする ICT」を掲載した。

#### (3) その他、広報・宣伝の充実および編集体制の改善

タイムリーな話題の企画化、調査研究・研究会との連携強化を実施した。

学生向けの「就職情報」について順調な掲載がなされた。

---

## 8. 実施事業 5：論文誌・学術図書等の刊行（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）

---

各発刊状況の詳細は付録 3（p.39～p.41）に掲載する。

### 8.1 論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション/デジタルプラクティス）

#### (1) 「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊） [所掌：ジャーナル編集委員会]

論文数の確保

一般論文、特集論文を含めた月刊体制を維持し、充実させた。また、特集号企画提案、推薦論文、招待論文に関する制度の改定を行った。

査読の質の向上

査読者、メタ査読者の意識統一のための「べからず集」を作成し、編集委員、査読者、特集号編集委員会等に配布するとともに、Web 上でも公開し、利用の徹底を図った。また、昨年に引き続き、全国大会において「論文の書き方、査読の仕方」に関する特別セッションを企画すると同時に、合宿形式の



編集委員会を開催して編集委員の間の意識統一を図る等により査読の質を向上させた。

論文査読管理システム（PRMS）の運用

論文の投稿，査読，採否決定等一連の作業をオンライン化したシステム PRMS の運用を行い，円滑な論文査読プロセスのための改良を施した。

論文の充実

世界的に標準となっている A4 縦組み 2 段フォーマットへの移行を行った。そのための LaTeX サンプルファイルの用意を行い，著者向けの「べからず集」の内容をチェックリストとしてその中に含めた。

ジャーナルにおける震災復興支援関係の対応

- ・災害，復興と ICT に関する特集として，「社会を元気にする ICT」特集を企画し，2011 年 6 月から論文募集を行った。2012 年 7 月に掲載の予定である。
- ・被災した論文投稿者の論文修正の締め切りを考慮するとともに，被災した編集委員，査読委員の負担減を考慮することとした。

## (2) 「Journal of Information Processing (JIP)」 [所掌：JIP 編集委員会]

海外投稿促進と国際化

トムソン・ロイターの Web of Science 収録基準を満たす刊行体制に向けた整備を進めた。具体的には，海外編集委員の人選，依頼を行い，承諾を得て編集委員会の国際化を行った。また，英文招待論文の強化を図るとともに，JIP を主とする特集号の促進を行った。同時に，海外からの投稿を促進するために，JIP の掲載料の無料期間を 1 年間延長することとした。さらに，世界的な情報系論文の書誌データベースである DBLP に書誌情報を登録するとともに，1 月より，世界的に標準となっている A4 縦組み 2 段フォーマットへ移行し，季刊発行とした。

論文査読管理システム（PRMS）の英語での運用

海外の著者・査読者が，距離と日本語の壁に阻まれることなく投稿・査読が行える体制を強化するために，論文の投稿，査読，採否決定等一連の作業をオンライン化したシステム PRMS の英語での運用を整備するためシステム整備を行った。

情報関係学会英文論文合同アーカイブズ（IMT: Information and Media Technologies）の刊行体制の維持 IMT の編集運営会議幹事学会として，その安定した編集および定期的な刊行を支援した。

## (3) トランザクション（8 誌） [所掌：各トランザクション編集委員会]

研究会が編集した「情報処理学会論文誌（トランザクション）」8 誌を年度内に計 31 号発行した。

学会としての論文誌の方針を説明し，各トランザクション編集委員会で今後のトランザクションの方向性を今後も引き続き検討していく。

## (4) 実務活動の論文誌「情報処理学会デジタルプラクティス」 [所掌：デジタルプラクティス編集委員会]

ほぼ毎月 1 回定例の編集委員会を開催し，「情報処理学会デジタルプラクティス」第 2 巻 2 号から第 3 巻 1 号まで計 4 号（論文 32 編）を編集発行し，学会誌に同梱して全学会員に配布した。発行部数は各号で多少の変動はあったが約 19,000 部であった。全論文，全記事は学会 Web サイト上で無料公開している。また，第 2 回デジタルプラクティスアワードの選考を行い，ソフトウェアジャパン 2012（6.2.(2)項参照）で表彰した。

昨年度に引き続きデジタルプラクティスの周知に努めた結果，2011 年 4 月から 2012 年 3 月までに 20 件の一般投稿があり，採録論文が 10 件あった。掲載論文も増加し，デジタルプラクティスが浸透する手応えを感じた。

また、デジタルプラクティスにおける震災復興支援関係の対応として、通巻第7号(2011年7月発行)～9号(2012年1月発行)に、緊急招待論文として以下の震災関連の論文を掲載し、通巻第11号(2012年7月発行)には「減災ICT特集」を企画した。

- ・「Google Person Finder 最初の一週間 - 非常時におけるサービス開発の一記録および考察 - 」 賀沢秀人
- ・「東日本大震災復興支援プラットフォーム sinsai.info の成り立ちと今後の課題」 関 治之
- ・「災害時における ITS 分野での取り組み事例 - 乗用車・トラック通行実績・道路規制情報 - 」

八木浩一，林 昌仙

#### (5) その他

各誌の優れた論文を顕彰するため、論文賞、デジタルプラクティスアワード等を贈呈した。詳細は付録5(p.43, p.48)に掲載する。

### 8.2 専門誌：教科書シリーズ [所掌：出版委員会]

“IT Text”シリーズの編集を進め、新たに「(一般教育)情報とコンピュータ」「(一般教育)情報とネットワーク社会学」の2冊を刊行した。

### 8.3 用語解説等の無料公開(歴史資料、コンピュータ博物館の公開を含む)

#### (1) 歴史資料の保存・公開 [所掌：歴史特別委員会、コンピュータ博物館小委員会]

「情報処理技術遺産」12件、「分散コンピュータ博物館」1件の認定を行った。  
「コンピュータ博物館」の充実を図った。  
オーラルヒストリー2件を会誌に掲載した。

#### (2) 情報学オントロジー

次世代ハンドブック編纂委員会は終了したが、情報システム分野については、情報システムと社会環境研究会が、オントロジーで集約したコンテンツを元に用語解説「IS デジタル辞典」の出版準備を行った(2012年4月無料公開)。

---

## 9 . 実施事業 6 : 標準化活動(定款第4条1項3号)

---

### 9.1 情報規格調査活動 [所掌：情報規格調査会]

#### (1) 国際標準化中心メンバーとしての貢献

昨年度から引き続き、メディア符号化(SC29)、デジタル記録媒体(SC23)、文字コード(SC2)などの重点領域の委員会議長、幹事国などの国際役職引き受けを継続するとともに、国の代表として、JTC1総会(11月サンディエゴ)に出席し、ITの新規標準化ターゲットなどの議論に参加してきた。

今年度の引き受け件数は、議長3件(19委員会中の3委員会の議長)、セクレタリアート4件(同4つの委員会の幹事国)で昨年と変わっていない。その他、コンビーナ(各SC委員会の下のWGの取りまとめ役)17件(全体で105のWGがある中で17のWG)(昨年比1件減)、プロジェクトエディタ113名と昨年同様に貢献した。

JTC1の新しいワークエリアのうち重要なものに対しては新たな会員の参加を促しつつ積極的に貢献している。クラウド関係のSC38(Distributed Application Platforms and Services)についてはプロジェクトが立ち上がり始め、日本としてもプロジェクトエディタを1件引き受けて積極的に活動を行

なった。また、SC39 (Sustainability for and by Information Technology) は、11月のJTC1総会で正式に設立が決まり、SC39引き受け団体の電子情報技術産業協会 (JEITA) と協力しながら国内委員会の設立に寄与している。

日本提案による国際標準化の推進について次の通り大きな成果を上げた。内訳は、日本が提案して2011年度に承認された新業務項目 (NP) 5件、日本が2011年度に提案して投票中の新業務項目 (NP) 6件、日本が2010年度に提案して承認された通常より早い手続きによるドラフトレベルの国際標準 (Fast-track DIS) 1件、日本が提案して2011年度に国際標準 (IS) が発行された規格3件などである。

国際会議の日本での開催：3月の震災の影響があり当初の予定から変更もあったが、SC37総会およびWG (当初東京予定、京都に変更して実施2011年7月) など7件の国際会議を開催した。

## (2) 健全な情報規格調査会の運営の維持

運営のさらなる効率化を図った。具体的には各専門委員会の運営効率化を図り、国際会議派遣費等の大幅削減を実現した。また、情報規格調査会のサーバの老朽化に伴う見直しに合わせてホスティングサービスへの移行を実施し、次年度からの運用コストを削減した。

国際標準化活動への参加・貢献の割合をできる限り維持することに努めた。297回の標準化国際会議への参加者は、延べ1334人とほぼ昨年並みを維持した。

新たに設けられた標準化担当理事を頂点として、規格役員の担当見直し、審議プロセスの見直しなど運営体制強化を実施。また副会長を委員長とし、標準化担当理事を副委員長とする規格運営諮問委員会を設置して、標準化活動の運営に関して、事業の成長戦略、財務戦略、制度・組織の検討を実施し、2012年度以降の戦略を策定した。

## (3) 法人移行対応・経営改善の規約見直し

一般社団法人化に対応し、標準化担当理事の情報規格調査会委員長就任、また規格総会の開催時期を学会本部の総会の開催時期の前に変更する改正を実施した。

## (4) 広報活動とセミナーの実施

刊行物「情報技術標準 NEWSLETTER」について季刊誌 (年4回) および別冊 (年1回) を発行した。情報技術標準化フォーラム (2011年7月11日) について「通信技術・情報処理技術が作るスマートなネットワークへの挑戦」と題し、山中直明氏 (慶大) の講演を行った。

## (5) 表彰

標準化関連活動への貢献を顕彰するため、標準化貢献賞等を贈呈した。詳細は付録5 (p.47) に掲載する。

---

# 10 . 実施事業7 : 国際活動 (定款第4条1項5号および2号)

---

## 10.1 関連する海外学協会との連携・協力

### (1) IEEE-Computer Society (IEEE-CS) との連携・協力

IEEE-CSと本会が founder (毎年共催 第11回目) の国際会議「The 2011 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2011)」を、2011年7月18日~21日にドイツ (ミュンヘン) において、「Computer Software and Applications Conference 2011 (COMPSAC2011)」と合同で開催した。19ヶ国から161名の参加 (前回10ヶ国174名参加) があった。

第74回全国大会においてIEEE-CS会長John Walz氏の招待講演が行われた。

IEEE-CS との覚書 (MOU) の更新を行った。

**(2) IEEE との連携・協力**

IEEE との覚書 (MOU) の更新を行った。

**(3) International Federation for Information Processing (IFIP) の活動状況**

IFIP 日本代表ならびに TC-Chair の総会 General Assembly (GA), 理事会 Council への参加  
IFIP 総会に齊藤 IFIP 日本代表が参加した。

各 TC 日本代表の TC-meeting への参加

IFIP 活動の周知

会誌への活動報告, 会議レポートの掲載のほか, メールニュース, Web を利用した情報発信を行った。

**(4) アジア地域, その他の学協会との連携・協力**

The Korean Institute of Information Scientists and Engineers (KIISE) との連携・協力

他の海外学会との協力関係継続

- The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)
- Association for Computing Machinery (ACM)
- Computer Society of India (CSI)
- Association Francaise des Sciences et Technologies de l'Information (ASTI)

**10.2 国際会議の開催 (4 件)**

開催状況の詳細は付録 4 (p.42) に掲載する。

**10.3 その他**

The International Association for Pattern Recognition (IAPR) 活動への参加

---

**1 1 . その他 : 関連学協会等との連絡および協力 (定款 4 条 1 項 6 号)**

---

**11.1 関連学協会・日本学術会議**

**(1) 電気・情報関連学会連絡協議会への参加**

電気・情報関連学会連絡協議会に参加し, 支部関連規程における名称の共通化など関連学会間での共通化が望まれる事項や会員数の変動状況など共通の問題について意見交換を行った。

**(2) 日本工学会への参加**

日本工学会に参加し, 関連学協会の共通の問題について意見交換を行った。

また, 日本工学会主催の震災復興支援シンポジウムに参加して白鳥則郎前会長 (東北大) が講演した。

**(3) 研究発表・学術講習会等の共催**

電子情報通信学会 (情報・システムソサエティほか) との共催による「情報科学技術フォーラム (FIT) (前 6.1 項参照)」ほか, 研究発表会および学術講習会において関連学協会等と適宜共催を行った。

**(4) 日本学術会議など関連団体等への協力**

日本学術会議協力学術研究団体として日本学術会議の活動に協力した。

## 11.2 会議の協賛後援等

### (1) 国内会議の協賛・後援等

「ロボット工学セミナー第 62 回シンポジウム」（日本ロボット学会主催，2011 年 5 月 30 日）ほか，関連学協会等の会議の協賛・後援等を行った。

### (2) 国際会議の協賛・後援等

「ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト：アジア地区予選福岡大会」（ACM 日本支部同コンテスト実行委員会主催，2011 年 11 月 12 日～14 日）ほか，関連学協会等の会議の協賛・後援等を行った。

---

## 12 . 法人運営

---

### 12.1 復興支援活動・入会促進・情報発信・広報活動

#### (1) 東日本大震災復興支援運営委員会の設置による復興支援の推進

若手会員を対象とした震災復興デザインコンテストを実施し，第 74 回全国大会において最優秀賞 1 名，優秀賞 1 名を表彰した（詳細は付録 5，p.43 参照）。

#### (2) 情報科学技術開発に関する政策提言の検討推進

情報科学技術開発に関する国の施策などについて提言すべき時に速やかに対応できるよう，継続的な調査・検討を行う組織として政策提言 WG を新たに設置した。

#### (3) 学生会員の獲得と育成

学生会員育成委員会のもと，研究会ならびに支部の協力により，新規学生会員の獲得活動を実施した。学生会員の正会員への移行・定着の施策として 1 研究会への無料登録を継続した。

学生会員入会促進のベストプラクティスの紹介のほか，学生会員獲得に向けた活動で予算の有効活用が図られるよう予算の算定における獲得学生会員数の比重を高める措置を実施した。

第 74 回全国大会（名古屋工業大学）を契機に，東海支部と全国大会現地実行委員会が中心となり，積極的な学生会員の入会促進を行った。

#### (4) 会員減の防止と新規会員の取り込み

会員減対策として以下の施策を実施した。正会員の減少は依然継続しているものの，減少数はこの数年抑制傾向にあり，2007 年度の 685 名減に対し 2011 年度には 282 名減まで抑制された。

各活動において学会の価値向上策に取組むとともに，理事を中心として新規会員の勧誘を行った。

デジタルプラクティスの無料公開継続や，技術応用活動（4.4 項）等により実務家に向けた活動を推進し，主として企業所属の正会員の退会防止に努めた。

理事が中心となり新たな賛助会員の取り込みに努めるとともに，情報サービス産業協会（JISA），日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）の会員企業に対して賛助会員の勧誘を行った。

会費滞納による資格喪失の防止策として，会費の口座引落等の推進を継続した。

#### (5) 情報発信の推進・学会活動の広報

積極的な社会提言・情報発信により，一般社会における情報処理に対する価値認識を高めるとともに，学会の存在感の向上を図った。

・大学入試センター試験における教科「情報」出題の要望（2011年4月）

- ・「情報処理の高度化等に対処するための刑法等の一部を改正する法律案」に対する要望（2011年6月）
- ・「科学技術に関する基本政策について」見直し案に関する意見（2011年6月）
- ・【声明】「京」コンピュータの世界一の性能達成について（2011年6月）
- ・平成24年度予算編成における「科学技術重要施策アクションプラン」に関する意見（2011年7月）
- ・教育ビジョン2011「誰もが情報技術に主体的に向き合う社会の実現をめざして」（2011年12月）
- ・大学入試センター試験における「情報」出題の提言（2012年1月）

Twitter, Facebook, Ustream などのニューメディアの活用による情報発信の試行を開始した。  
各種行事等の場における入会促進, 電子メールによる学会紹介, IPSJ メールニュースの充実等の広報活動, ホテル・レンタカー等会員優待サービスの充実に努めた。また, 情報関連展示会の場において本会の活動を紹介した。

## 12.3 運営体制の充実・改善等

### (1) 理事担務の見直し・改善

実務家・IT プロフェッショナル向け活動の強化を図るため, 技術応用担当理事を新設した。国際活動については, 研究会活動のグローバル化を重点的に推進するため調査研究担当理事の担務とし, 国際担当は廃止する。2012年度から現行組織を改組し, 新たな役員選挙区分は2013年度の役員選挙から適用する。

### (2) 中長期計画の具体化と推進

学会の魅力・価値の向上を目指して中長期計画を策定することにより各事業のスケジュールの明確化を図り, 諸施策の着実な実施を推進した。

### (3) 諸活動の評価のためのデータ収集の継続

会員の入退会, 大会・セミナー等への投稿・申込み状況, 会誌等のモニター会員による評価など, 関連データの収集・分析を継続し諸活動の評価・改善に努めた。

### (4) アドバイザリーボードへの対応

アドバイザリーボードミーティングを2回開催した(2011年10月, 2012年4月)。ボードメンバーからの助言は, 組織の見直しや中長期計画の策定などに反映させるとともに, 実施事業の企画や運営の改善に役立てた。

### (5) 2011年度監事付帯意見への対応

2011年度監事付帯意見(2011年6月開催の第564回理事会に監事が提出)について, 改善策の検討ならびに学会運営や中長期計画への反映などの対応を実施し, 結果を572回理事会(2012年4月)で報告した。監事付帯意見は6項目(理事の責任体制の一層の確立, ICT技術者にメリットのある会員サービス, 東日本大震災への対応, 論文誌の投稿・採択数の改善, 標準化活動の財政面の健全化と在り方の自己点検, 調査研究の社会ニーズに基づく分野対応)から成り, 全てに対し検討・対応を実施した。

### (6) 著作権関連 [所掌:著作権委員会]

Crown Copyright の取り扱いについて検討した。  
最高裁判所に対し, 知的財産権専門委員18名の推薦を行った。

### (7) 電子化の推進

論文査読管理システム(PRMS)にオンライン編集会議機能を追加し, 編集委員会の国際化に対応した。  
オンラインクレジットカード決済サービスを導入した。

研究報告，シンポジウム論文の電子投稿受付システムの開発を推進し，セキュリティ強化を行った。  
デジタルコンテンツ事業検討委員会において，新電子図書館サービス&ビジネスモデル，マルチメディアコンテンツ，学会システム化等について検討を行った（1.1.(4)項参照）。

Web，メールサーバをリニューアルした。

学会 Web サイトをリニューアルした。

スマートフォン，iPad 等の新端末で役員選挙システムの動作検証を行った。

メールフォワードサービスにスパムメール対策を施した。

## 12.4 その他

### (1) 顕彰，名誉会員・フェローの選定など

功績賞，学会活動貢献賞の贈呈のほか，フェロー認定，情報処理技術遺産・分散コンピュータ博物館の認定等を行った。詳細は付録 5（p.43, p.46, p.48）に掲載する。

### (2) 事務局職員

事務局常勤職員の年度末在籍者は 28 名（本部 19 名，規格 9 名，前年末は 26 名）である。

以上











	<p>13. 第75回全国大会組織委員会議事録 [ 事業 ]</p> <p>14. 連続セミナー2011参加案内チラシ ( 周知依頼 ) [ 事業 ]</p> <p>15. 情報規格調査会の近況報告 [ 標準化 ]</p>	<p>確認 確認 確認</p>
<p>決議の省略・報告の省略 2011年8月25日 ( 監事確認日 )</p> <p>議決可能理事数：全議案とも23名</p>	<p>&lt; 法令および定款により理事会決議があったものとする事項 &gt;</p> <p>1. 2011年8月の新規入会申請 [ 総務 ]</p> <p>2. 国内会議の協賛・後援等依頼 [ 事業 ]</p> <p>3. 国際会議の協賛・後援等依頼 [ 国際 ]</p> <p>4. 2011年度山下記念研究賞受賞候補者 [ 調査研究 ]</p> <p>5. シンポジウム等の開催願い [ 調査研究 ]</p> <p>&lt; 法令および定款により理事会報告があったものとする事項 &gt;</p> <p>1. 2011年7月期開催会議 [ 総務 ]</p> <p>2. 2011年7月本部収支状況 [ 財務 ]</p> <p>3. 役員・代表会員選挙日程 [ 総務 ]</p> <p>4. 2011年8月広告収入状況 [ 会誌 ]</p> <p>5. 各領域委員会報告 [ 調査研究 ]</p> <p>6. 技術応用運営委員会 ( 第55回 ) ・ SJ2012 実行委員会 ( 第3回 ) 議事録 [ 企画 ]</p> <p>7. 第20回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [ 企画 ]</p> <p>8. 2011年度第3回情報処理教育委員会議事録 [ 教育 ]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認</p>
<p>決議の省略・報告の省略 2011年9月26日 ( 監事確認日 )</p> <p>議決可能理事数：全議案とも23名</p>	<p>&lt; 法令および定款により理事会決議があったものとする事項 &gt;</p> <p>1. 2011年9月の新規入会申請 [ 総務 ]</p> <p>2. 国内会議の協賛・後援等依頼 [ 事業 ]</p> <p>3. 情報規格調査会委員の変更 [ 標準化 ]</p> <p>&lt; 法令および定款により理事会報告があったものとする事項 &gt;</p> <p>1. 2011年8月期開催会議 [ 総務 ]</p> <p>2. 2011年8月本部収支状況 [ 財務 ]</p> <p>3. 第90回総務財務運営委員会議事録 [ 総務 ]</p> <p>4. 役員・代表会員・支部役員選挙・Web 投票の改善対応など [ 総務 ]</p> <p>5. 外部の賞に関する候補者推薦報告 [ 総務 ]</p> <p>6. 長尾賞、喜安業績賞、功績賞、選定手続き [ 総務 ]</p> <p>7. 2011年9月広告収入状況 [ 会誌 ]</p> <p>8. 第74回歴史特別委員会議事録 [ 会誌 ]</p> <p>9. 第57回調査研究運営委員会議事録 [ 調査研究 ]</p> <p>10. 第2～4回デジタルコンテンツ事業検討委員会議事録 [ 調査研究 ]</p> <p>11. 技術応用運営委員会 ( 第56回 ) ・ SJ2012実行委員会 ( 第4回 ) 議事録 [ 企画 ]</p> <p>12. 第59回電気科学技術奨励賞の結果報告 [ 企画 ]</p> <p>13. 第19回高度IT人材資格制度設計WG議事録 [ 総務 ]</p> <p>14. 第279回規格役員会議事録 [ 標準化 ]</p>	<p>承認 承認 承認</p> <p>確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認</p>
<p>第568回理事会 2011年9月27日</p> <p>議長：古川一夫 ( 会長 )</p> <p>議決可能理事数：全議案とも23名 出席理事数：20名</p>	<p>&lt; 承認事項 &gt;</p> <p>1. 2012年度理事会推薦代表会員1次候補者 [ 総務 ]</p> <p>2. 情報処理学会 教育・人材育成ビジョン2011 ( 改訂版 ) [ 教育 ]</p> <p>3. 情報学教育関連学会等協議会の発足準備会への参画・協議会への加盟 [ 教育 ]</p> <p>4. 若手奨励賞の対象追加による規程改訂 [ 教育 ]</p> <p>5. 震災復興デザインコンテスト [ 震災復興支援運営委員会 ]</p> <p>6. 2011年度JIS開発事業に関する契約 [ 標準化 ]</p> <p>7. 2011年度戦略的国際標準化推進事業に関する契約 [ 標準化 ]</p> <p>&lt; 審議事項 &gt;</p> <p>1. 企画政策委員会関係 [ 副会長 ]</p> <p>( 1 ) 2011年度 ( 第2回, 第3回 ) 企画政策委員会議事録</p> <p>( 2 ) 会員増に関する理事各位への依頼等</p> <p>( 3 ) 監事付帯意見への対応進捗</p> <p>( 4 ) 中長期計画の進捗</p> <p>( 5 ) アドバイザリーボードへの報告資料</p> <p>&lt; 報告事項 &gt;</p> <p>1. 会員数の状況 [ 総務 ]</p> <p>2. 法令・定款による理事の職務執行状況報告 ( 6月～8月 ) [ 総務 ]</p> <p>3. 第92回総務財務運営委員会議事録 [ 総務 ]</p> <p>4. 事業別損益の進捗状況 [ 財務 ]</p> <p>5. 広報案件の審査手順 ( 2010年9月理事会承認内容 ) [ 総務 ]</p> <p>6. クレジットカード決済サービスの導入 [ 総務 ]</p> <p>7. 2011年度支部長会議議事録 [ 総務 ]</p>	<p>承認 再提案 承認 承認 承認 承認</p> <p>確認 依頼 確認 確認 確認</p> <p>確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認</p>

	8. 第155 回会誌編集委員会議事録 付・会誌特集予定 [ 会誌 ] 9. 情報処理学会誌への広告提供のお願い 付・就職情報申込状況 [ 会誌 ] 10. 論文誌 ( ジャーナル/JIP ) 特集号スケジュール表 [ 論文誌 ] 11. 論文誌ジャーナル改善に向けた活動状況報告 [ 論文誌 ] 12. 論文誌特集企画提案・英文論文投稿のお願い [ 論文誌 ] 13. デジタルプラクティス特集一覧 [ 企画 ] 14. 情報規格調査会の近況報告 [ 標準化 ]	確認 確認 確認 確認 確認 確認
決議の省略・報告の省略 2011年10月25日 ( 監事確認日 )  議決可能理事数：全議案とも23名	< 法令および定款により理事会決議があったものとする事項 > 1. 2011年10月の新規入会申請 [ 総務 ] 2. 国内会議の協賛・後援等依頼 [ 事業 ] 3. 国際会議の協賛・後援等依頼 [ 国際 ] 4. シンポジウム等の開催願い [ 調査研究 ] 5. 情報規格調査会委員の変更 [ 標準化 ] < 法令および定款により理事会報告があったものとする事項 > 1. 2011年9月期開催会議 [ 総務 ] 2. 2011年9月本部収支状況 [ 財務 ] 3. 第2期アドバイザーボード ( 第3回 ) 議事録 [ 総務 ] 4. 期中会計監査報告書 [ 財務 ] 5. 震災復興デザインコンテスト実施WG [ 企画 ] 6. 2011年10月広告収入状況 [ 会誌 ] 7. 第75回歴史特別委員会議事録 [ 会誌 ] 8. 第58回調査研究運営委員会議事録 [ 調査研究 ] 9. 各領域委員会報告 [ 調査研究 ] 10. 2012年度研究会登録費の算定 [ 調査研究 ] 11. 研究会の継続・新設・名称変更, 領域の名称変更 [ 調査研究 ] 12. 第375,376回論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会 ( 幹事会 ) 議事録抜粋 [ 論文誌 ] 13. 第10回事業推進委員会議事録 [ 事業 ] 14. 第57回技術応用運営委員会・SJ2012実行委員会議事録 [ 企画 ] 15. 第21回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [ 企画 ] 16. 2011年度第4回情報処理教育委員会 議事録 [ 教育 ] 17. 第20回高度IT人材資格制度設計WG 議事録 [ 総務 ] 18. 第1回高度IT人材資格検討WG 議事録 [ 総務 ] 19. 第280回規格役員会議事録 [ 標準化 ]	承認 承認 承認 承認 承認  確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認
決議の省略・報告の省略 2011年11月24日 ( 監事確認日 )  議決可能理事数：全議案とも23名	< 法令および定款により理事会決議があったものとする事項 > 1. 2011年11月の新規入会申請 [ 総務 ] 2. 東海支部支部役員への旅費・謝金等規程 [ 総務 ] 3. 国内会議の協賛・後援等依頼 [ 事業 ] 4. 国際会議の協賛・後援等依頼 [ 国際 ] 5. シンポジウム等の開催願い / 終了報告 [ 調査研究 ] < 法令および定款により理事会報告があったものとする事項 > 1. 2011年10月期開催会議 [ 総務 ] 2. 2011年10月本部収支状況 [ 財務 ] 3. 第93回総務財務運営委員会議事録 [ 総務 ] 4. 第6回学生会員育成委員会議事録 [ 総務 ] 5. 学生会員育成委員会2011年度第2四半期活動状況 [ 総務 ] 6. 2012年度科学研究費補助金 ( 研究成果公開促進費 ) 申請について [ 会誌 ] 7. 第377回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会 ( 幹事会 ) 議事録抜粋 [ 調査研究 ] 8. 2012年度研究会登録費の改定 [ 調査研究 ] 9. 技術応用運営委員会 ( 第58回 ) ・SJ2012実行委員会 ( 第6回 ) 議事録 [ 企画 ] 10. 第22回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [ 企画 ] 11. 2011年度第5回情報処理教育委員会議事録 [ 教育 ] 12. 第2回高度IT人材資格検討WG議事録 [ 総務 ] 13. 第3,4回規格運営諮問委員会議事録 [ 標準化 ]	承認 再提案 承認 承認 一部再提案  確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認
第569回理事会 2011年11月25日  議長：古川一夫 ( 会長 )  議決可能理事数：全議案とも23名 出席理事数：18名	< 承認事項 > 1. 東海支部役員の旅費等の規程 [ 総務 ] 2. 賛助会員の震災による会費免除 [ 総務 ] 3. 2012年度理事会推薦役員候補者立候補依頼順位 [ 総務 ] 4. 支部予算配分額の改定 [ 総務 ] 5. 情報サービス産業協会 [ JISA ] との連携 [ 総務 ] 6. 12月役員検討会テーマ [ 総務財務運営委員会 ]	承認 承認 承認 承認 承認 承認



<p>決議の省略・報告の省略 2012年1月23日（監事確認日）</p> <p>議決可能理事数：全議案とも23名</p>	<p>&lt;法令および定款により理事会決議があったものとする事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2012年1月の新規入会申請 [ 総務 ]</li> <li>2. 2011年度学会活動貢献賞受賞候補者 [ 総務 ]</li> <li>3. 支部旅費規程：東北、九州、四国 各支部 [ 総務 ]</li> <li>4. 2011年度フェローの選定 [ 総務 ]</li> <li>5. シンポジウム等の開催願い / 終了報告 [ 調査研究 ]</li> <li>6. 調査研究からの理事候補者推薦 [ 調査研究 ]</li> <li>7. プログラミング・シンポジウム運営委員会委員長の交替 [ 事業 ]</li> <li>8. 国内会議 協賛・後援依頼一覧 [ 事業 ]</li> <li>9. IWSEC2012国際会議開催申請書 [ 国際 ]</li> <li>10. 2011年度優秀教育賞ならびに優秀教材賞受賞者選定報告 [ 教育 ]</li> </ol> <p>&lt;法令および定款により理事会報告があったものとする事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2011年12月期開催会議 [ 総務 ]</li> <li>2. 2011年12月本部収支状況 [ 財務 ]</li> <li>3. 2012年度支部予算配分額 [ 総務 ]</li> <li>4. 第39回教科書委員会議事録 / 採用データ [ 会誌 ]</li> <li>5. 第78回歴史特別委員会議事録 [ 会誌 ]</li> <li>6. 2011年度 第1回論文賞選定委員会（ジャーナル）議事録 [ 研究 ]</li> <li>7. 第59回調査研究運営委員会議事録 [ 研究 ]</li> <li>8. 第378回論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会（幹事会）議事録抜粋 [ 研究 ]</li> <li>9. FIT2012 実行委員会・プログラム委員会合同委員会議事録 [ 事業 ]</li> <li>10. 第24回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [ 企画 ]</li> <li>11. 2011年度第7回情報処理教育委員会議事録 [ 教育 ]</li> <li>12. 第22回高度IT人材資格制度設計WG議事録 [ 総務 ]</li> <li>13. 第3回高度IT人材資格検討WG議事録 [ 総務 ]</li> <li>14. 第283回規格役員会議事録 [ 標準化 ]</li> <li>15. 第5回規格運営諮問委員会議事録 [ 標準化 ]</li> </ol>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p>
<p>第570回理事会 2012年1月25日</p> <p>議長：古川一夫（会長）</p> <p>議決可能理事数：全議案とも23名 出席理事数：21名</p>	<p>&lt;承認事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 名誉会員の推薦（総務）</li> <li>2. 2012年度理事会推薦役員・代表会員最終候補者（総務）</li> <li>3. 支部運営の見直しに関する一般規則の一部改訂（総務）</li> <li>4. JIPの掲載料無料期間延長（論文誌）</li> <li>5. 「ISデジタル辞典 - 重要用語の基礎知識 - 」出版提案（出版）</li> <li>6. 2012年度連続セミナーの企画検討（事業）</li> <li>7. プログラミングコンテスト開催のための検討準備委員会の設立（事業）</li> <li>8. 大学入試センター試験における「情報」出題の提言（教育）</li> <li>9. 若手奨励賞の活用・対象追加（教育）</li> <li>10. 事務局職員賃金関係内規の一部改訂（総務）</li> </ol> <p>&lt;審議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企画政策委員会：中間答申 / 会員増の進捗 / 中長期計画 [ 副会長 ]</li> <li>2. 会員サービスおよび広報宣伝の強化 [ 副会長 ]</li> <li>3. 2011進捗 / 2012年度事業計画・予算（1次案） [ 各理事 ]</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第96回総務財務運営委員会議事録 [ 総務 ]</li> <li>2. 第1回政策提言WG議事録 [ 総務 ]</li> <li>3. 第158回会誌編集委員会議事録 / 会誌特集リスト / モニタ評価 [ 会誌 ]</li> <li>4. 広告収入状況 / 広告申込状況 [ 会誌 ]</li> <li>5. 取説アプリ共同制作プロジェクト（細川プロジェクト）合意書 [ 会誌 ]</li> <li>6. 論文誌（ジャーナル/JIP）特集号スケジュール表 [ 論文誌 ]</li> <li>7. 第6回デジタルコンテンツ事業検討委員会議事録 [ 論文誌 ]</li> <li>8. デジタルプラクティス特集一覧 [ 企画 ]</li> </ol>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>中間答申承認 意見交換 継続検討</p> <p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p>
<p>決議の省略・報告の省略 2012年2月22日（監事確認日）</p> <p>議決可能理事数：全議案とも23名</p>	<p>&lt;法令および定款により理事会決議があったものとする事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2012年2月の新規入会申請 [ 総務 ]</li> <li>2. 震災復興デザインコンテスト受賞者 [ 企画 ]</li> <li>3. 国内会議の協賛・後援等依頼 [ 事業 ]</li> <li>4. 国際会議の協賛・後援等依頼 [ 国際 ]</li> <li>5. シンポジウム等の開催願い / 終了報告 [ 調査研究 ]</li> <li>6. 情報規格調査会委員の変更 [ 標準化 ]</li> </ol> <p>&lt;法令および定款により理事会報告があったものとする事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2012年1月期開催会議 [ 総務 ]</li> <li>2. 2012年1月本部収支状況 [ 財務 ]</li> </ol>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>承認 承認</p>





3. 電気・情報関連学会連絡協議会（平成23年度第2回）議事録 [ 総務 ]	確認
4. 第381回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会（幹事会）議事録抜粋 [ 論文誌 ]	確認
5. 各領域委員会報告 [ 調査研究 ]	確認
6. 第26回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [ 企画 ]	確認
7. 情報システム教育コンテストISECON2011受賞者選定報告 [ 教育 ]	確認
8. 2011年度第8回情報処理教育委員会議事録 [ 教育 ]	確認
9. 第24回高度IT人材資格制度設計WG議事録 [ 総務 ]	確認
10. 第5回高度IT人材資格検討WG議事録 [ 総務 ]	確認
11. 第285回規格役員会議事録 [ 標準化 ]	確認
12. 第6回規格運営諮問委員会議事録 [ 標準化 ]	確認

## 各種委員会

委員長・主査， 副委員長・財務委員，幹事・副査， 担当理事（担務）、\*オブザーバ，アドバイザー委員  
委員は6月以降の構成を掲載（以下、同）

### 1. 法人運営

#### 1.1 震災復興支援運営委員会

寺中勝美、水野忠則、落谷 亮、吉野松樹、西 直樹、山室雅司、谷口倫一郎、黒橋禎夫、茂木 強、橋田浩一、木下哲男  
\*古川一夫、\*白鳥則郎

[電子メールベース]

本学会として可能な震災復興に向けた諸対応の検討 / 震災復興デザインコンテストの企画

#### 1.1.1 震災復興デザインコンテスト選考委員会

谷口倫一郎、黒橋禎夫、落谷 亮、河口信夫、橋田浩一、\*賀沢秀人、\*白鳥則郎、\*関 治之

[電子メールベース] 震災復興デザインコンテストの実施運営・選考

#### 1.2 企画政策委員会

/ 水野忠則、 / 寺中勝美、 大蒔和仁、 岡田謙一、 落谷 亮、 河口信夫、 黒橋禎夫、 谷口倫一郎、 寺田真敏、  
中野美由紀、 西 直樹、 茂木 強、 山室雅司、 横田治夫、 吉野松樹

[ '11年7月20日、8月31日、9月16日、10月25日、11月16日、12月14日、'12年1月12日、2月10日、3月23日 ]

会員増 / 中長期計画 / アドバイザリーボード対応 / 理事担務の見直し・関連規程の改訂 / 会員サービス・広報宣伝の検討

#### 1.2.1 実務家向け活動検討WG

/ 寺中勝美、 / 水野忠則、 落谷 亮、 黒橋禎夫、 谷口倫一郎、 西 直樹、 山室雅司、 吉野松樹、 旭 寛治、  
平田圭二、丸山 宏

[ '11年8月25日、10月4日、10月25日、11月16日、'12年1月12日、2月10日 ]

デジタルプラクティス掲載料の扱い / 実務家向け活動関連組織の改組 / 実務家向け活動のビジネスモデルの検討

#### 1.2.2 規格運営諮問委員会

/ 寺中勝美、 / 大蒔和仁、 / 西 直樹、 伊藤 智、 落谷 亮、 楠 正憲、 櫻井義人、 高橋克巳、 谷津行徳、  
平山浩司、福田 昭一、 山室雅司、 吉野松樹

[ '11年5月17日、8月25日、9月27日、10月18日、'12年1月24日、2月21日 ]

情報規格調査会の運営改善・財務基盤強化等に関する検討および答申

#### 1.3 総務財務運営委員会

/ 寺中勝美、 落谷 亮、 西 直樹、 山室雅司、 吉野松樹

[ '11年4月21日、5月25日、6月14日、7月20日、8月30日、9月16日、10月25日、11月16日、12月14日、'12年1月12日、2月10日、3月9日 ]

定時総会関連事項 / 事業別損益管理 / カード決済の導入 / 支部運営の見直し / 事務局給与の見直しほか

#### 1.4 政策提言WG

/ 水野忠則、 谷口倫一郎、 黒橋禎夫、 関口智嗣、 河口信夫、 近山 隆、 東野輝夫

[ '11年12月26日、ほかメールベース ] 提言の取り纏め体制など

#### 1.5 電子化委員会

/ 落谷 亮、 / 吉野松樹、 井戸上彰、 渡辺 尚、 奥乃 博、 西 直樹、 茂木 強、 横田治夫

[電子メールベース]

学会マネジメントシステムの機能強化・ユーザビリティの改善ほか、各事業のシステム開発管理

#### 1.5.1 セキュリティ委員会

村山優子、大谷和子、岡本栄司、菊池浩明、佐々木良一、 落谷 亮、寺田真敏、鳥居 悟、丸山 宏、 吉野松樹

[電子メールベース] 情報セキュリティに関する諸対応

1.6 学生会員育成委員会

益田隆司、 / 落谷 亮、 小橋喜嗣、 落谷 亮、 関口智嗣、 寺中勝美、 西 直樹、 山室雅司、 吉野松樹

[ 電子メールベース ] 研究会・支部等への学生会員勧誘の協力依頼 / 正会員への移行状況の把握ほか

1.7 支部長会議

/ 古川一夫、 水野忠則、 寺中勝美、 落谷 亮、 西 直樹、 山室雅司、 吉野松樹

各支部長：高井昌彰（北海道）、木下哲男（東北）、川勝 務（東海）、荒木睦大（北陸）、黒橋禎夫（関西）、三池秀敏（中国）、小林真也（四国）、荒木啓二郎（九州）

[ '11年9月8日、12月22日（役員検討会） ] 本部-支部の意見交換

1.8 アドバイザリーボード

根本武彦、大島哲也、國井秀子、椎橋章夫、田口 潤、辻村清行、天良和男、永岡慶三

[ '11年10月12日 ] 第三者的な見地からの情報処理学会の運営に関する助言

2. 調査研究活動

2.1 調査研究運営委員会

/ 水野忠則、 岡田謙一、 関口智嗣、 渡辺 尚、 池内克史、 片寄晴弘、 菊池浩明、 佐藤三久、 柴山悦哉、 高橋 修、 中村 宏、 東野輝夫

開催年月日	主な議事事項	会議結果
2011年4月26日	1. 領域制度の見直し 2. 研究報告論文フォーマット（英文タイトル等について） 3. 調査研究からの理事候補者の選出 4. 調査研究運営委員会の運営（委員長補佐を追加）	検討 承認 承認 / 検討 承認 理事会へ提出
2011年6月23日	1. 2012年度シンポジウム事務諸費改定 2. 領域制度の見直し / FIT査読論文について 3. 調査研究からの理事候補者の選出 4. ISデジタル辞典の編集発刊	承認 検討 確認 / 検討 承認
2011年8月26日	1. 理事候補者の選出 2. 研究会登録者数について 3. 会員増の具体的施策 / 中長期計画 / 監事付帯意見への対応	承認 / 検討 確認 確認 / 検討
2011年10月3日	1. 領域名称と定義について 2. 2012年度研究会登録費算定方法 3. 研究会の継続・新設・名称変更	承認 承認 確認 / 承認
2011年12月19日	1. 調査研究からの理事候補者推薦（手順 / 内規改定） 2. 国際会議の申請終了の手続き 3. 中長期計画	承認 理事会へ提出 承認 確認

2.2 コンピュータサイエンス領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

佐藤三久、 中村 宏、 関口智嗣、 岸 知二、 河野健二、 小林 聡、 佐藤寿倫、 須田礼仁、 中野真一、 中本幸一、 西崎真也、 山名早人、 若林一敏

2011年7月15日	領域共通-1. 2011年度山下記念研究賞選定 領域共通-2. 2012年度シンポジウム事務諸費改定 領域共通-3. 領域制度の見直し 領域共通-4. 調査研究からの理事候補者の選出 領域共通-5. FIT査読論文について	承認 調査研究運営委員会へ報告 承認 確認 / 検討 確認 検討
2011年9月26日	領域共通-1. 研究会の継続・新設・名称変更 領域共通-2. 2012年度研究会登録費 領域共通-3. 会員増の具体的施策 / 中長期計画 / 監事付帯意見への対応	承認 調査研究運営委員会へ提案 / 報告 承認 確認
2012年2月27日	領域共通-1. 2011年度活動状況 / 2012年度計画 領域共通-2. 領域委員長・財務委員の改選 領域共通-3. クレジットカード決済サービスの導入 領域共通-4. 中長期計画 / 会員増の進捗 領域共通-5. 研究グループの新設	確認 確認 確認 確認 確認 / 承認

### 2.3 情報環境領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

/ 渡辺 尚、菊池浩明、阿部昭博、石川憲洋、今村 誠、勝本道哲、岸場清悟、小林 稔、酒澤茂之、椎尾一郎、関 洋平、竹下 敦、西本一志、松浦幹太、村山優子、屋代智之、山口 泰、山之上卓

[ '11年7月27日、9月26日、'12年3月2日 ] いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

### 2.4 フロンティア領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

池内克史、片寄晴弘、岡田謙一、奥富正敏、角田博保、加藤博一、河原達也、渋谷哲朗、関野 樹、竹村治雄、田中哲朗、徳永健伸、長尾 確、平井重行、山下博之

[ '11年7月26日、9月15日、'12年2月23日 ] いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

## 3. 人材育成活動

### 3.1 高度IT人材資格検討WG

旭 寛治、井戸上彰、落谷 亮、箕 捷彦、掛下哲郎、串田高幸、芝田 晃、西 直樹、平田圭二、丸山 宏、茂木 強、山室雅司、吉野松樹

[ '11年9月13日、10月13日、11月10日、12月12日、'12年1月18日、3月1日 ] 高度IT人材資格制度の検討

### 3.2 高度IT人材資格制度設計WG

芝田 晃、旭 寛治、大森久美子、落谷 亮、小島昌一、田多井菊雄、高橋伸子、松浦規隆、並木重人、森澤正純、八木孝夫、佐立一範

[ '11年4月25日、6月1日、6月7日、6月30日、8月23日、9月27日、11月14日、12月16日、'12年1月24日、2月14日、3月28日 ]  
高度IT人材資格制度設計の検討

### 3.3 情報処理教育委員会（教育賞選定委員会を兼ねる） 傘下の委員会は掲載略

箕 捷彦、角田博保、佐渡一広、寺田真敏、平田圭二、阿草清滋、市川照久、牛島和夫、大岩 元、掛下哲郎、神沼靖子、川合 慧、河村一樹、久野 靖、黒川恒雄、児玉公信、駒谷昇一、佐々木良一、清水尚彦、武井恵雄、辰巳丈夫、富樫 敦、都倉信樹、富田悦次、中森真理雄、西田知博、疋田輝雄、福田 晃、本位田真一、宮川裕之、望月徹英、山本昌弘、弓場敏嗣、吉澤康文、吉村 晋

[ '11年4月4日、6月7日、7月14日、9月16日、10月6日、11月7日、12月9日、'12年1月12日、3月13日 ]  
情報教育に関する提言 / JABEE対応 / 会誌「ぺた語義」掲載 / 中期プラン / 教育ビジョン / 傘下の小委員会報告ほか

## 4. 事業活動

### 4.1 事業推進委員会

/ 茂木 強、橋田浩一、落谷 亮、吉野松樹、西 直樹、山室雅司、谷口倫一郎、黒橋禎夫、奥乃 博、岡田謙一

[ '11年10月11日、ほか電子メールベース ] 各イベント開催の進捗状況管理 / 2011年度連続セミナー等の企画運営ほか。

### 4.2 第74回（2012年春）全国大会組織委員会 プログラム委員会、現地実行委員会は掲載略

/ 水野忠則、茂木 強、落谷 亮、西 直樹、奥乃 博、横田治夫、関口智嗣、谷口倫一郎、井戸上彰、寺田真敏、田坂修二、岩田 彰

[ '11年7月13日、ほか電子メールベース ] 全国大会開催の推進

### 4.3 FIT推進委員会 実行委員会・プログラム委員会は掲載略

水野忠則、大田友一、茂木 強、橋田浩一、岡田謙一、池内克史、北原 格、籠嶋岳彦、八木貴史、宮野博義、湯浅将英、高橋 修、井宮 淳、大田友一、橋田浩一

[ '11年6月8日、10月25日、'12年2月2日、ほか電子メールベース ] FITの運営推進に関する検討対応

### 4.4 プログラミング・シンポジウム幹事会

並木美太郎、小出 洋、山口文彦、副田俊介、笹田耕一、長 慎也、疋田敏朗

[ '11年6月15日、10月18日、12月13日、'12年2月20日 ] 夏のプロシン / 若手の会 / 冬のプロシンの開催に関する検討実施

#### 4.5 技術応用運営委員会（ソフトウェアジャパン実行委員会併催）

丸山 宏、 / 谷口倫一郎、 / 黒橋禎夫、 奥乃 博、 落谷 亮、 横田治夫、 西 直樹、 河口信夫、 吉野松樹、 串田高幸、 山室雅司

[ '11年5月17日、6月27日、7月27日、8月25日、9月29日、10月19日、11月16日、12月9日、'12年2月13日 ]

ITフォーラムの活性化に向けた検討対応/ソフトウェアジャパンの開催ほか

#### 4.6 コンピュータ将棋『あから』強化推進委員会

中島秀之、 松原 仁、 茂木 強、 橋田浩一、 鶴岡慶雅、 保木邦仁、 吉野松樹、 金子知適、 田中哲朗、 山下 宏、 横山大作、 伊藤毅志、 岸本章宏、 橋本 剛、 瀧澤武信、 小谷善行、 飯田弘之、 近山 隆、 柴山悦哉、 関口智嗣、 中島 浩、 棚瀬 寧、 柿木義一

[ 電子メールベース ] コンピュータ将棋とプロ棋士の対戦実現の推進

#### 4.7 AIプログラミングコンテスト検討準備委員会

竹内郁雄、 近山 隆、 橋田浩一、 茂木 強、 落谷 亮、 吉野松樹、 木戸冬子、 小林隆志、 高田真吾、 田中秀樹、 鷺崎弘宣

[ '12年2月29日、3月30日、ほか電子メールベース ] AIプログラミングコンテストの実施検討

### 5. 会誌

#### 5.1 会誌編集委員会

中島秀之、 奥乃 博、 河口信夫、 伊藤毅志、 位野木万里、 柏野邦夫、 加藤丈和、 佐藤文明、 高岡詠子、 武田浩一、 田村 大、 塚本昌彦、 徳田雄洋、 松崎公紀、 宮崎邦彦、 山之内徹、 吉岡信和、 長 健太、 石坂一久、 田中浩明、 鈴木信雄、 乾 孝司、 新 麗、 高杉秀樹

[ '11年4月12日、5月11日、6月9日、7月7日、9月6日、10月6日、11月9日、12月1日、'12年1月6日、2月2日、3月1日 ]

全回共通：会誌の編集刊行に関する検討実施。

### 6. 機関誌 / 出版活動

#### 6.1 学会論文誌運営委員会

/ 水野忠則、 岡田謙一、 串田高幸、 関口智嗣、 横田治夫、 渡辺 尚

2011年7月15日	1. トランザクション採録論文0件での発刊について 2. トランザクション論文状況/JIP のインパクトファクタ取得 3. 学会論文誌運営委員会副委員長について	確認 確認 / 検討 承認 理事会へ提出
2012年1月25日	1. 論文誌ジャーナル編集細則変更 2. 論文誌編集規定 / 冊子単位でのPDF作成	承認 / 検討 検討

#### 6.2 論文誌ジャーナル/JIP編集委員会（幹事会）

/ 横田治夫、 / 串田高幸、 田中 譲、 定兼邦彦、 中村大賀、 戸川 望、 齋藤孝道、 石原 進、 清原良三、 佐藤 誠、 吉田 稔、 福田直樹、 笹嶋宗彦、 坂東宏和、 由井園隆也

[ '11年4月8日、5月14日、6月3日、7月8日、9月12日、10月3日、11月7日、12月16日、'12年1月13日、2月3日、3月2日 ]

全回共通：論文誌ジャーナル/JIPの編集刊行に関する検討実施。

#### 6.3 トランザクション編集会議

/ 岡田謙一、 西崎真也（PRO）、 伊藤 実（TOM）、 石川佳治（TOD）、 酒井哲也（TOD）、 山名早人（TOD）、 中村 宏（ACS）、 高橋 修（CDS）、 渋谷哲朗（TBIO）、 富山宏之（TSLDM）、 横矢直和（CVA）

[ '12年1月25日ほか、電子メールベース ] 発行状況 / インパクトファクタ取得ほか。

#### 6.4 デジタルプラクティス編集委員会

平田圭二、 青山幹雄、 大蔭和仁、 奥乃 博、 河口信夫、 桑名栄二、 黒橋禎夫、 坂井修一、 諏訪良武、 武田浩一、 谷口倫一郎、 近山 隆、 土井美和子、 中田登志之、 丸山 宏、 村上篤道、 守安 隆、 安信千津子、 吉野松樹、 \*喜連川 優

[ '11年4月22日、5月20日、6月30日、7月26日、9月28日、10月24日、11月25日、12月26日、'12年1月26日、2月21日、3月23日 ]

全回共通：デジタルプラクティスの編集刊行に関する検討実施。

#### 6.5 デジタルコンテンツ事業検討委員会

水野忠則、 落谷 亮、 安達 淳、 今村 誠、 岡田謙一、 河口信夫、 塚本昌彦、 平田圭二、 茂木 強、 山室雅司、 横田治夫

[ '11年4月26日、7月14日、8月25日、10月20日、12月19日、'12年2月10日、 ] デジタルコンテンツ事業の推進/統括

## 6.6 出版委員会

/ 奥乃 博、 / 河口信夫

[ 電子メールベース ] 出版関連契約ほか

### 6.6.1 教科書委員会

阪田史郎、伊藤 潔、井戸上彰、大河内正明、駒谷昇一、坂下善彦、曾根原登、本位田真一、 奥乃 博、 河口信夫

[ '11年5月23日、12月26日 ] 教科書シリーズの刊行に関する検討実施

## 6.7 歴史特別委員会（傘下の小委員会は掲載略）

発田 弘、 松永俊雄、旭 寛治、宇田 理、浦城恒雄、橋爪宏達、弘末清悟、前島正裕、山田昭彦、和田英一、  
奥乃 博、 河口信夫

[ '11年4月6日、5月18日、6月22日、8月29日、9月28日、10月17日、11月24日、'12年1月12日、3月16日 ]

コンピュータの歴史の公開推進、情報処理技術遺産等の認定ほか

## 6.8 著作権委員会

/ 奥乃 博、 / 河口信夫、天野真家、大谷和子、 岡田謙一、 落谷 亮、 串田高幸、杉本重雄、 関口智嗣、  
長谷川亨、平田圭二、 横田治夫、 吉野松樹、 渡辺 尚

[ 電子メールベース ] 知的財産権専門委員推薦、その他Webに掲載された論文の著作権の扱い対応ほか

## 7. 標準化活動

### 7.1 情報規格調査会（規格役員会）

/ 大蔭和仁、 伊藤 智、落合真一、楠 正憲、櫻井義人、高橋克巳、谷津行穂、平山浩司、福田昭一、 山室雅司

[ '11年4月11日、5月16日、6月13日、7月4日、9月12日、10月17日、11月21日、12月12日、'12年1月16日、2月13日、3月12日

全回共通：規格賛助員の入退会等 / 委員会関連変更 / 国際会議派遣・招致 / 月次決算

その他、JTC1総会対応 / 標準化関連受託契約ほか

## 8. 国際活動

### 8.1 国際業務委員会

/ 井戸上彰、 / 中野美由紀、山田昭彦、齊藤忠夫、山崎克之

[ 電子メールベース ] 国際会議の申請・終了報告の確認ほか

### 8.2 IFIP委員会

/ 水野忠則、 齊藤忠夫（IFIP日本代表）、 / 井戸上彰、 / 中野美由紀、小林直樹、萩谷昌己、大岩 元、木村文彦、  
亀田壽夫、内木哲也、岸上順一、金川信康、岡本栄司、山口高平、黒須正明、星野准一、発田 弘

[ '11年11月8日 ] IFIP年次総会報告 / 各TCの活動報告ほか。

## 9. その他委員会：次サイトを参照

[http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/meibo/2011/2011\\_meibo.html](http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/meibo/2011/2011_meibo.html)

## 付2. 研究会および研究発表・学術講習会等一覧

[ 研究会等の詳細 ]

研究会等の名称 ( ( ) 内: 英略称、*: 研究グループ )	主査名 ( 運営委員数 )	登録者数
[ コンピュータサイエンス領域 ]		
データベースシステム ( DBS )	山名早人 ( 51 )	480
ソフトウェア工学 ( SE )	岸 知二 ( 49 )	553
計算機アーキテクチャ ( ARC )	佐藤寿倫 ( 32 )	395
システムソフトウェアとオペレーティング・システム ( OS )	河野健二 ( 33 )	327
システムLSI設計技術 ( SLDM )	若林一敏 ( 33 )	269
ハイパフォーマンスコンピューティング ( HPC )	須田礼仁 ( 38 )	542
プログラミング ( PRO )	西崎真也 ( 25 )	354
アルゴリズム ( AL )	中野真一 ( 24 )	232
数理モデル化と問題解決 ( MPS )	小林 聡 ( 32 )	366
組込みシステム ( EMB )	中本幸一 ( 31 )	291
[ 情報環境領域 ]		
マルチメディア通信と分散処理 ( DPS )	勝本道哲 ( 44 )	374
ヒューマンコンピュータインタラクション ( HCI )	西本一志 ( 37 )	606
グラフィクスとCAD ( CG )	山口 泰 ( 31 )	292
情報システムと社会環境 ( IS )	阿部昭博 ( 23 )	205
情報基礎とアクセス技術 ( IFAT )	関 洋平 ( 24 )	186
オーディオビジュアル複合情報処理 ( AVM )	酒澤茂之 ( 14 )	88
グループウェアとネットワークサービス ( GN )	小林 稔 ( 34 )	285
デジタルドキュメント ( DD )	今村 誠 ( 17 )	128
モバイルコンピューティングとユビキタス通信 ( MBL )	竹下 敦 ( 40 )	346
コンピュータセキュリティ ( CSEC )	松浦幹太 ( 38 )	490
高度交通システム ( ITS )	屋代智之 ( 20 )	175
システム評価 ( EVA )	岸場清悟 ( 16 )	77
ユビキタスコンピューティング ( UBI )	椎尾一郎 ( 24 )	269
インターネットと運用技術 ( IOT )	山之上卓 ( 38 )	369
情報セキュリティ心理学とトラスト ( SPT )	村山優子 ( 16 )	58
コンシューマ・デバイス&システム ( CDS )	石川憲洋 ( 26 )	72
*放送コンピューティング ( BCC )	塚本昌彦 ( -- )	---
[ フロンティア領域 ]		
自然言語処理 ( NL )	徳永健伸 ( 20 )	508
知能システム ( ICS )	長尾 確 ( 12 )	249
コンピュータビジョンとイメージメディア ( CVIM )	奥富正敏 ( 60 )	569
コンピュータと教育 ( CE )	角田博保 ( 44 )	545
人文科学とコンピュータ ( CH )	関野 樹 ( 24 )	240
音楽情報科学 ( MUS )	平井重行 ( 30 )	360
音声言語情報処理 ( SLP )	河原達也 ( 28 )	250
電子化知的財産・社会基盤 ( EIP )	山下博之 ( 17 )	125
ゲーム情報学 ( GI )	田中哲朗 ( 24 )	227
エンタテインメントコンピューティング ( EC )	加藤博一 ( 28 )	180
バイオ情報学 ( BIO )	渋谷哲朗 ( 15 )	132
教育学習支援情報システム ( CLE )	竹村治雄 ( 18 )	132
*ネットワーク生態学 ( NE )	林 幸雄 ( -- )	---

## 1. 研究発表会（調査研究活動分）

### 1.1 コンピュータサイエンス領域

#### 1.1.1 データベースシステム研究発表会

回数	開催年月	場所	発表件数	参加者数	共催団体、その他備考
第152回	2011年8月2日～3日	立命館大学	17	59	
第153回	2011年11月3日	エステック情報ビル	35	115	

#### 1.1.2 ソフトウェア工学研究発表会

第172回	2011年5月17日～18日	早稲田大学	9	44	その他震災で中止となった7件発表あり
第173回	2011年7月21日～22日	岡山国際交流センター	12	27	その他震災で中止となった2件発表あり
第174回	2011年11月1日～2日	奈良県新公会堂	11	57	その他震災で中止となった2件発表あり
第175回	2012年3月15日～16日	化学会館	25	62	

#### 1.1.3 計算機アーキテクチャ研究発表会

第187回	2011年4月13日～14日	沖縄県立博物館	32	14	
第188回	2011年7月27日～28日	かごしま県民交流センター	26	110	
第189回	2011年11月28日～29日	北海道大学	36	54	
第190回	2012年1月19日～20日	電気通信大学	19	19	電子情報通信学会
第191回	2012年3月27日～28日	長崎大学	15	38	

#### 1.1.4 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会

第117回	2011年4月13日～14日	沖縄県立博物館	32	57	
第118回	2011年7月27日～28日	かごしま県民交流センター	22	84	
第119回	2011年11月29日	立命館大学	12	47	
第120回	2012年2月28日～29日	七島信用組合 八丈島支店	11	25	

#### 1.1.5 システムLSI設計技術研究発表会

第150回	2011年5月18日～19日	北九州国際会議場	12	20	電子情報通信学会 震災による中止発表2件あり
第151回	2011年7月2日～3日	宮古島マリニターミナル	3	17	電子情報通信学会 震災による中止発表19件あり
第152回	2011年10月24日～25日	一の坊	18	3	電子情報通信学会
第153回	2011年11月28日～30日	ニューウェルシティ宮崎	39	21	電子情報通信学会
第154回	2012年1月25日～26日	慶應義塾大学	32	7	電子情報通信学会
第155回	2012年3月2日～3日	ホテル松島大観荘	37	27	電子情報通信学会

#### 1.1.6 ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会

第129回	2011年5月10日～11日	東京大学	0	91	震災による中止回を振替開催(26件)
第130回	2011年7月27日～29日	かごしま県民交流センター	70	171	
第131回	2011年10月6日	京都大学	6	29	
第132回	2011年11月28日～29日	北海道大学	36	94	
第133回	2012年3月26日～27日	鬼怒川観光ホテル	37	91	

#### 1.1.7 プログラミング研究発表会

第84回	2011年6月14日～15日	サン・リフレ函館	7	19	
第85回	2011年7月29日	かごしま県民交流センター	11	56	
第86回	2011年11月1日～2日	神奈川近代文学館	15	43	
第87回	2012年1月23日～24日	イーフ情報プラザ	12	35	
第88回	2012年3月15日～16日	産業技術総合研究所	12	36	

#### 1.1.8 アルゴリズム研究発表会

第135回	2011年5月16日	秋田県立大学	10	17	
第136回	2011年9月6日	函館市中央図書館	12	21	電子情報通信学会
第137回	2011年11月18日	山口大学	10	21	
第138回	2012年1月28日	流通科学大学	10	22	



第139回	2012年3月14日	信州大学	10	22	
-------	------------	------	----	----	--

#### 1.1.9 数理モデル化と問題解決研究発表会

第83回	2011年5月17日	岡山県立大学	15	29	
第84回	2011年7月18日	モンテカルロリゾート	13	20	
第85回	2011年9月15日～16日	室蘭工業大学	31	51	
第86回	2011年12月16日～17日	電気通信大学	35	51	
第87回	2012年3月7日～8日	指宿市市民会館	35	60	

#### 1.1.10 組込みシステム研究発表会

第21回	2011年5月17日～18日	化学会館	9	29	その他震災で中止となった7件発表あり
第22回	2011年7月2日～3日	はこだて未来大学	3	24	電子情報通信学会 震災による中止発表19件あり
第23回	2011年11月28日	熊本大学	12	16	
第24回	2012年3月2日～3日	ホテル松島大観荘	37	29	電子情報通信学会

### 1.2 情報環境領域

#### 1.2.1 マルチメディア通信と分散処理研究発表会

第147回	2011年6月2日～3日	岡山大学	27	26	電子情報通信学会
第148回	2011年9月15日～16日	和歌山商工会議所	19	34	
第149回	2011年11月24日～25日	湯田温泉	12	25	
第150回	2012年2月29日～3月1日	横浜市開港記念会館	49	72	

#### 1.2.2 ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会

第143回	2011年5月27日	名古屋大学	10	43	その他震災で中止となった6件発表あり
第144回	2011年7月28日～29日	宇奈月グランドホテル	24	55	その他震災で中止となった3件発表あり
第145回	2011年10月14日	お茶の水女子大学	7	44	
第146回	2012年1月19日～20日	国立民族学博物館	20	61	
第147回	2012年3月21日～22日	JAIST東京サテライト	30	77	その他震災で中止となった1件発表あり

#### 1.2.3 グラフィクスとCAD研究発表会

第143回	2011年6月27日	くにびきメッセ	8	36	
第144回	2011年9月4日～5日	ホテルグリーンヒル白浜	8	-	台風の為中止
第145回	2011年11月17日～18日	筑波大学	29	77	
第146回	2012年2月7日～8日	東京大学	34	76	

#### 1.2.4 情報システムと社会環境研究発表会

第116回	2011年6月6日	東京理科大学	5	38	その他震災で中止となった9件発表あり
第117回	2011年9月5日～6日	小樽商科大学	13	30	
第118回	2011年12月5日	キャンパス・イノベーションセンター-東京	10	36	
第119回	2012年3月15日～15日	専修大学	16	40	

#### 1.2.5 情報基礎とアクセス技術研究発表会

第103回	2011年8月2日～3日	立命館大学	17	39	
第104回	2011年11月22日	九州大学	9	7	デジタル図書館ワークショップ
第105回	2012年1月20日～21日	福岡大学	14	25	
第106回	2012年3月26日～27日	白百合女子大学	9	28	

#### 1.2.6 オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会

第73回	2011年7月14日～15日	奈良先端科学技術大学院大学	11	9	電子情報通信学会
第74回	2011年9月21日～22日	秋田大学	21	6	電子情報通信学会
第75回	2011年12月15日～16日	名古屋大学	27	5	電子情報通信学会
第76回	2012年2月23日	早稲田大学	6	15	

### 1.2.7 グループウェアとネットワークサービス研究発表会

第80回	2011年5月19日～20日	NTT武蔵野研究開発センタ	13	28	電子情報通信学会
第81回	2011年9月15日～16日	和歌山商工会議所	19	30	
第82回	2012年1月19日～20日	かんぼの宿熱海	30	14	
第83回	2012年3月21日～22日	電気通信大学	20	38	

### 1.2.8 デジタルドキュメント研究発表会

第81回	2011年7月21日～22日	公立はこだて未来大学	8	15	電子情報通信学会
第82回	2011年10月8日	東京大学	5	17	
第83回	2011年11月18日	東洋大学	9	39	
第84回	2012年1月20日	芝蘭会館	6	15	
第85回	2012年3月26日～27日	白百合女子大学	9	9	

### 1.2.9 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会

第58回	2011年6月2日～3日	岡山大学	27	24	電子情報通信学会
第59回	2011年9月5日～6日	三菱電機	22	40	
第60回	2011年11月10日～11日	かごしま県民交流センター	20	28	
第61回	2012年3月12日～13日	情報通信研究機構	42	48	電子情報通信学会

### 1.2.10 コンピュータセキュリティ研究発表会

第53回	2011年5月12日～13日	タワーホール船堀	22	39	電子情報通信学会
第54回	2011年7月12日～13日	弘前大学	36	41	電子情報通信学会
第55回	2011年12月5日	名古屋大学	10	34	
第56回	2012年2月29日～3月1日	横浜市開港記念会館	49	77	

### 1.2.11 高度交通システム研究発表会

第45回	2011年6月24日	大阪大学	5	14	
第46回	2011年9月28日	宇都宮大学	10	10	電子情報通信学会
第47回	2011年11月10日～11日	かごしま県民交流センター	20	11	
第48回	2012年3月16日	電気通信大学	8	24	

### 1.2.12 システム評価研究発表会

第35回	2011年7月28日	かごしま県民交流センター	1	4	
第36回	2011年12月2日	アイアイエム	4	8	
第37回	2012年3月30日	会津大学	3	6	

### 1.2.13 ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会

第30回	2011年5月27日	東芝科学館	7	33	
第31回	2011年7月14日～15日	九州大学	25	20	
第32回	2011年11月24日	お茶の水女子大学	12	35	
第33回	2012年3月12日～13日	情報通信研究機構	42	34	電子情報通信学会

### 1.2.14 インターネットと運用技術研究発表会

第13回	2011年5月12日～13日	九州大学	22	36	電子情報通信学会
第14回	2011年7月15日	岡山大学	10	52	
第15回	2011年10月7日	愛媛大学	9	40	
第16回	2012年3月15日～16日	北海道大学	54	84	電子情報通信学会

### 1.2.15 情報セキュリティ心理学とトラスト研究発表会

第1回	2011年7月12日～13日	静岡大学	36	10	電子情報通信学会
第2回	2011年12月26日	京都大学	6	20	

### 1.2.16 コンシューマ・デバイス&システム研究発表会

第1回	2011年6月15日～16日	同志社大学東京オフィス	12	33	
-----	----------------	-------------	----	----	--

第2回	2011年9月5日～6日	三菱電機	22	22	
第3回	2012年1月19日～20日	かんぼの宿熱海	30	38	

### 1.3 フロンティア領域

#### 1.3.1 自然言語処理研究発表会

第201回	2011年5月16日～17日	東京大学	16	74	
第202回	2011年7月15日～16日	山形大学	8	22	
第203回	2011年9月16日	徳島大学	5	15	
第204回	2011年11月21日～22日	石垣市商工会館	17	27	
第205回	2012年1月20日～21日	NHK放送技術研究所	14	40	

#### 1.3.2 知能システム研究発表会

第164回	2011年10月28日	熱海後楽園ホテル	7	10	
第165回	2012年1月12日	国立情報学研究所	8	15	
第166回	2012年3月11日～12日	北海道定山渓	5	30	
第167回	2012年3月21日	名古屋大学	5	7	

#### 1.3.3 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会

第177回	2011年5月19日～20日	大阪大学	34	111	その他震災で中止となった17件発表あり
第178回	2011年9月5日～6日	公立はこだて未来大学	30	31	電子情報通信学会
第179回	2011年11月17日～18日	筑波大学	29	85	その他震災で中止となった2件発表あり
第180回	2012年1月19日	大阪電気通信大学	68	74	電子情報通信学会
第181回	2012年3月15日～16日	東京工業大学	23	108	

#### 1.3.4 コンピュータと教育研究発表会

第110回	2011年7月9日	富山大学	7	25	
第111回	2011年10月14日～15日	帝京大学	15	38	
第112回	2011年12月17日～18日	島根大学	15	30	電子情報通信学会
第113回	2012年2月4日～5日	三重大学	17	68	
第114回	2012年3月16日～17日	明星大学	18	52	

#### 1.3.5 人文科学とコンピュータ研究発表会

第90回	2011年5月21日	同志社大学	10	44	
第91回	2011年7月30日	大阪電気通信大学	8	39	
第92回	2011年10月8日	国立国語研究所	6	31	
第93回	2012年1月27日～28日	奄美博物館	8	24	

#### 1.3.6 音楽情報科学研究発表会

第90回	2011年5月13日	京都産業大学	8	30	
第91回	2011年7月27日～29日	関西学院大学	21	76	
第92回	2011年10月11日	NTT厚木	5	43	
第93回	2011年12月11日～12日	首都大学東京	12	74	
第94回	2012年2月3日～4日	館山寺温泉	32	83	

#### 1.3.7 音声言語情報処理研究発表会

第86回	2011年5月16日～17日	東京大学	16	51	
第87回	2011年7月21日～23日	札幌定山渓温泉	17	57	
第88回	2011年10月28日	国立オリンピック記念青少年総合センター	9	67	
第89回	2011年12月19日	芝浦工業大学	33	75	電子情報通信学会
第90回	2012年2月3日～4日	館山寺温泉	32	68	

#### 1.3.8 電子化知的財産・社会基盤研究発表会

第52回	2011年5月19日	東京理科大学	12	33	電子情報通信学会
第53回	2011年9月15日～16日	和歌山商工会議所	19	28	

第54回	2011年11月11日	新潟大学	6	18	
第55回	2012年2月10日	追手門学院	11	20	

#### 1.3.9 ゲーム情報学研究発表会

第26回	2011年7月1日	松江オープンソースラボ	12	21	
第27回	2012年3月2日	東京農工大学	12	36	

#### 1.3.10 エンタテインメントコンピューティング研究発表会

第20回	2011年5月13日～14日	筑波大学	22	32	電子情報通信学会 震災による中止発表20件あり
第21回	2011年8月30日	北海道大学	10	27	
第22回	2011年12月17日～18日	健康文化村	6	12	
第23回	2012年3月26日～27日	ポータルサイト 臨床研究情報センター	23	46	

#### 1.3.11 バイオ情報学研究発表会

第25回	2011年6月23日～24日	琉球大学	41	32	電子情報通信学会
第26回	2011年9月13日	神戸大学	8	24	
第27回	2011年12月1日～2日	電気通信大学	35	37	
第28回	2012年3月28日～29日	東北大学	20	28	

#### 1.3.12 教育学習支援情報システム研究発表会

第4回	2011年5月12日～13日	長岡科学技術大学	7	22	
第5回	2011年10月14日～15日	帝京大学	15	38	
第6回	2011年12月1日～2日	福井AOSSA	9	31	

## 2. シンポジウム等

### 2.1 調査研究活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2011	2011年5月25日～27日	秋葉原コンベンションホール	76	290
マルチメディア,分散,協調とモバイル(DICOM02011)シンポジウム	2011年7月6日～8日	天橋立宮津ロイヤルホテル	227	344
第14回画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2011)	2011年7月20日～22日	金沢市文化ホール	255	549
iDB Workshop 2011	2011年8月1日～3日	立命館大学朱雀キャンパス	22	144
情報教育シンポジウム2011(SSS2011)	2011年8月18日～20日	岡山いこいの村	25	81
DAシンポジウム2011	2011年8月31日～9月1日	下呂温泉 水明館	36	102
ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2011	2011年9月12日～14日	東京女子大学	35	105
情報アクセスシンポジウム2011	2011年9月14日	国立情報学研究所	8	35
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	2011年10月5日～7日	奥入瀬渓流ホテル	50	88
エンタテインメントコンピューティングシンポジウム(EC2011)	2011年10月7日～9日	日本科学未来館	130	231
SOUPS2011発表論文をものすごい勢いで読破する会	2011年10月12日	SECOM本社	15	17
組込みシステムシンポジウム2011	2011年10月19日～21日	国立オリンピック記念青少年センター	33	177
コンピュータセキュリティシンポジウム(CSS2011)	2011年10月19日～21日	朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター	145	336
チュートリアル「使うシステムから使えるシステムへ～発想の転換で生きる情報システム～」	2011年10月24日	日本情報システム・ユーザー協会	2	32
第4回Webとデータベースに関するフォーラム(WebDB Forum 2011)	2011年11月4日～5日	工学院大学	103	384
第16回ゲームプログラミングワークショップ2011	2011年11月4日～6日	箱根セミナーハウス	25	81
グループウェアとネットワークサービスワークショップ2011	2011年11月10日～11日	南知多温泉郷 海栄館鯨亭	17	29
コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2011)	2011年11月30日～12月1日	立命館大学朱雀キャンパス	14	66
第4回インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2011)	2011年12月1日～2日	慶應義塾大学	12	65
人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2011」	2011年12月10日～11日	龍谷大学	62	152
ウインターワークショップ2012・イン・琵琶湖	2012年1月19日～20日	琵琶湖コンファレンスセンター	61	74
高度交通システム2012シンポジウム	2012年1月20日	日本科学未来館	6	48
2012年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム(HPCS2012)	2012年1月24日～26日	名古屋大学	58	202
インタラクティブ2012	2012年3月15日～16日	日本科学未来館	173	689

### 2.2 教育活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
高校教科「情報」シンポジウム2011 - ジョーシン2011 -	2011年10月29日	早稲田大学	6	82

協力：早稲田大学

## 3. 事業活動

### 3.1 全国大会

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
第74回全国大会	2012年3月6日～8日	名古屋工業大学	1,478	3	2,864

### 3.2 FIT (情報科学技術フォーラム)

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム	2011年9月7日～9日	函館大学・函館短期大学	826	2	1,610

共催：電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）

### 3.3 連続セミナー2011：テーマ「コンシューマが切り拓くデジタル化社会の新しい潮流」

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
ソーシャルメディアなどによるコンシューマ参加型インターネットサービスの新たな発展	2011年9月15日	化学会館	5	54
グリーンICTによるスマートな社会の創出	2011年10月26日	化学会館	4	71
コンシューマサービスの発展を支える要素技術と標準化動向	2011年11月17日	化学会館	6	57
スマートフォンとコンシューマサービスの新たな展開	2011年12月22日	化学会館	5	90
通信、放送、ITの連携による新たなコンシューマサービスの出現	2012年1月25日	化学会館	4	68
センサ、デバイスによる新たな情報と高度交通システム	2012年2月17日	化学会館	5	74

協賛・後援：グローバルクラウド基盤連携技術フォーラム（GICTF）、電子情報技術産業協会、情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザ協会、電子情報通信学会、東京電機大学 未来科学部

### 3.4 プログラミング・シンポジウム

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
夏のプログラミング・シンポジウム2011	2011年9月2日～4日	唐津市国民宿舎虹の松原ホテル	16	45
第44回情報科学若手の会	2011年9月17日～19日	芳泉閣	10	32
第53回プログラミング・シンポジウム	2012年1月6日～8日	ニューウェルシティ湯河原	18	94

## 4. 技術応用活動

### 4.1 個別ITフォーラム（5件）

名称	代表者名
サービスサイエンス	諏訪良武
ユニバーサルデザイン協創（旧名称：福祉情報システム）	稜川友宏
ITダイバーシティ	安信千津子
高度IT人材育成	掛下哲郎
コンタクトセンター	宮崎義文

### 4.2 ITフォーラム関連のイベント

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	備考
ソフトウェアエアジャパン2012「CIOは決断する」	2012年2月1日	タワーホール船堀	6	415	注1, 注2

注1) 協賛：日本情報システム・ユーザ協会、情報サービス産業協会、電子情報技術産業協会、電子情報通信学会、先端IT活用推進コンソーシアム、日本ソフトウェア科学会、国際CIO学会、

後援：文部科学省、経済産業省、総務省、情報処理推進機構、スポンサー：5団体、サポーター：31団体

注2) 6件の招待講演のほかにパネル討論、8件のITフォーラム（他団体連携5件（IPA・JUAS・JISA・JEITA・先端IT））、1件のデモを開催

## 5. 支部活動（役員会等は除く）

### 5.1 北海道支部

- ・情報処理北海道シンポジウム2011（'11年10月1日、北見工業大学） 演題数73件、参加者数133名
- ・支部講演会 4回（'11年11月21日、'12年1月27、3月3日、3月5日）

## 5.2 東北支部

- ・電気関係学会東北支部連合大会（'11年8月25-26日、東北学院大学） 演題数312件、参加者数621名
- ・支部研究会 8回（'11年9月26日、12月5-6日、12月12日、12月22日、'12年1月21日、2月14日、3月2日、3月9日）
- ・支部講演会 4回（'11年5月18日、10月25日、12月9日、12月22日）

## 5.3 東海支部

- ・電気関係学会東海支部連合大会（'11年9月26-27日、三重大） 演題数677件、参加者数1,123名
- ・講演会 6回（'11年5月16日、7月1日、10月31日、11月16日、12月6日、'12年1月10日）
- ・研究会 10回（協賛等）

## 5.4 北陸支部

- ・特別講演会 1回（'11年5月20日、福井大）
- ・研究講演会 4回（'11年7月22日、7月22日、7月29日、8月10日）
- ・電気関係学会北陸支部連合大会（'11年9月17-18日、福井大学） 演題数349件、参加者数約568名
- ・見学会（'11年12月8日、(株)松浦機械製作所 参加者数11名）
- ・北陸地区学生による研究発表会（'12年3月10日、石川高専）

## 5.5 関西支部

- ・関西支部支部大会（'11年9月22日、大阪大学中之島センター） 演題数98件、参加者数 204名
- ・支部研究会：ものづくり基盤コンピューティングシステム研究会 2回（'11年9月22日、'12年3月30日）
- ・支部研究会：社会知能研究会 2回（'11年9月22日、'12年3月30日）
- ・支部研究会：実証的ソフトウェア工学研究会 1回（'11年9月22日、11月1-4日、11月27-28日）
- ・支部研究会：並列分散処理研究会 1回（'11年9月22日）
- ・支部研究会：ネットワークサービス研究会 1回（'11年9月22日）
- ・支部研究会：言語情報分析研究会 1回（'11年9月22日）
- ・支部セミナー 1回（'11年10月29-30日）
- ・講演会 3回（'11年7月31日、9月22日、'12年2月5日）

## 5.6 中国支部

- ・電気・情報関連学会中国支部連合大会（2011年10月22日、広島工業大学） 演題数365件、参加者数649名
- ・講演会11回（'11年5月27日、6月20日、7月11日、10月15日、12月16日、12月20日、12月22日、'12年1月18日、2月24日、2月24日、2月28日）
- ・イブニングセミナー 1回（'11年12月2日）
- ・講習会 5回（'11年4月25日、9月13日、10月7日、11月18日、12月13日）

## 5.7 四国支部

- ・電気系学会四国支部連合大会（2011年9月23日、阿南高専） 発表者数341名、参加者数507名
- ・研究会 5回（'11年7月19日、8月5日、11月26-27日、'12年2月16-17日、3月24日）  
四国オープンソースセミナー、プロコン EPOCH@まつやま含む
- ・講演会 5回（'11年7月1日、10月7日、12月16日、'12年1月20日、1月27日）

## 5.8 九州支部

- ・電気関係学会九州支部連合大会（'11年9月26-27日、佐賀大） 講演登録件数589件、聴講者数233名
- ・若手の会セミナー（'11年9月16-17日、ホテルパレスイン鹿児島）
- ・火の国情報シンポジウム2012（'12年3月15-16日、九工大）
- ・講演会等 4回（'11年9月3-4日、10月27-28日、11月25日、'12年3月23日）

## 付3．刊行物（機関誌・図書）一覧

### 1．会誌「情報処理」（月刊）

発行年月日	巻	号	特集テーマ	その他参考		
				記事数	本文頁数	広告頁数
2011年4月15日	52	4/5	全国技術系勉強会マップ - 技術者のライブセッションに参加しよう！ / スマートフォンプログラミング - iPhoneとAndroid	72	213	4
2011年5月15日	52	6	時間とコンピュータ クラウドを支えるデータストレージ技術	44	157	4
2011年6月15日	52	7	アナログテレビ放送の終焉	23	143	6
2011年7月15日	52	8	夏休み工作のためのフィジカルコンピューティング	45	153	4
2011年8月15日	52	9	東日本大震災 危機発生時の対応について考える 新しいインターネットがやってくる - 基盤編 - ソフトウェアパターン - 時を超えるソフトウェアの道 -	42	171	6
2011年9月15日	52	10	高度IT 人材育成の軌跡 ITトップガン構想から先導的IT スペシャリスト育成まで / 研究会推薦博士論文速報	51	143	6
2011年10月15日	52	11	食とコンピューティング	18	115	6
2011年11月15日	52	12	未踏コースから育ったタレントたち 情報処理学会推奨修士論文・卒業論文速報	43	131	6
2011年12月15日	53	1	スマートフォンプログラミング2 - iPhone/Android/Windows Phone によるセンサプログラミング -	14	97	8
2012年1月15日	53	2	ゲーム情報学	19	105	4
2012年2月15日	53	3	不自然言語処理 - 枠に収まらない「リアルな」言語処理 - 研究会推薦博士論文速報	58	153	8
2012年3月15日	53	4	日本を元気にするICT	24	111	6

### 2．「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊）

2008年4月よりオンライン刊行のみ

発行年月日	巻	号	特集テーマ	その他参考		
				論文数	テクニカルノート数	本文頁数
2011年4月15日	52	4	インタラクションの基盤技術、デザインおよび応用	36	1	428
2011年5月15日	52	5	---	7	0	87
2011年6月15日	52	6	---	8	0	106
2011年7月15日	52	7	Trust Management	23	0	298
2011年8月15日	52	8	組込み/リアルタイムソフトウェア	14	1	164
2011年9月15日	52	9	人と共存するコンピュータセキュリティ技術	32	2	375
2011年10月15日	52	10	---	9	0	102
2011年11月15日	52	11	---	7	1	95
2011年12月15日	52	12	教育とコンピュータ / 組込みシステム工学 / 情報爆発時代におけるIT基盤技術	89	3	1094
2012年1月15日	53	1	我々の知識を拡げるコラボレーション技術 / 新たな展開を迎えるITS、モバイル通信とユビキタスコンピューティング	43	2	501
2012年2月15日	53	2	社会活動を支える情報システム / ソフトウェア工学 / 分散処理とネットワークサービス	48	0	531
2012年3月15日	53	3	ディペンダブルなシステムの構築・運用・管理技術 / エンタテインメントコンピューティング	33	1	353



3. 「Journal of Information Processing (JIP)」(2012年より季刊化)

2008年4月よりオンライン刊行のみ

発行年	巻	号	備考	参考		
				論文数	テクニカルノート数	本文頁数
2011年4月～12月	19	-	随時オンライン掲載	26	0	322
2012年1月15日	20	1		30	0	339

4. 「情報処理学会論文誌(トランザクション)」(不定期、8誌)

2008年4月よりオンライン刊行のみ

発行年月日	巻	号	トランザクション名	その他参考	
				論文数	本文頁数
2011年5月11日	3	-	Computer Vision and Applications	1	11
2011年5月12日	4	3	コンピューティングシステム	12	146
2011年5月18日	4	-	Bioinformatics	1	12
2011年6月24日	3	-	Computer Vision and Applications	1	12
2011年6月29日	4	3	プログラミング	7	100
2011年7月1日	4	2	データベースシステム	15	199
2011年7月20日	4	3	数理モデル化と応用	11	131
2011年8月10日	4	-	System LSI Design Methodology	11	154
2011年9月20日	3	-	Computer Vision and Applications	2	36
2011年9月22日	4	4	プログラミング	2	46
2011年10月3日	4	3	データベースシステム	6	69
2011年10月5日	4	4	コンピューティングシステム	20	245
2011年10月17日	3	-	Computer Vision and Applications	1	15
2011年11月1日	4	-	Bioinformatics	1	13
2011年11月30日	4	4	数理モデル化と応用	10	110
2011年12月14日	4	-	Bioinformatics	1	11
2011年12月26日	1	1	コンシューマ・デバイス&システム	5	46
2011年12月28日	3	-	Computer Vision and Applications	12	153
2011年12月28日	4	4	データベースシステム	5	77
2012年1月27日	5	1	コンピューティングシステム	8	102
2012年2月21日	5	-	System LSI Design Methodology	7	69
2012年2月24日	5	-	Bioinformatics	1	5
2012年3月5日	5	1	数理モデル化と応用	9	95
2012年3月8日	4	-	Computer Vision and Applications	1	11
2012年3月21日	2	1	コンシューマ・デバイス&システム	11	103
2012年3月22日	5	2	コンピューティングシステム	11	132
2012年3月26日	5	-	Bioinformatics	1	11
2012年3月28日	5	1	プログラミング	3	40
2012年3月29日	5	1	データベースシステム	2	30
2012年3月30日	4	-	Computer Vision and Applications	4	41
2012年3月30日	5	2	プログラミング	7	104

5. 「情報処理学会デジタルプラクティス」(年4回)

発行年月日	巻	号	特集テーマ	その他参考	
				論文数	本文頁数
2011年4月15日	2	2	世界に飛び出す日本のソフトウェア	9	90
2011年7月15日	2	3	コンタクトセンタ	9	85
2011年10月15日	2	4	事業に生きる我が国発の標準化	7	62
2012年1月15日	3	1	CI0は決断する	7	72

## 6. その他出版（新刊）

判型：B5

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
2011年9月20日	IT textシリーズ（一般教育） 情報とコンピュータ 1版1刷	2,000	166
2011年12月25日	IT textシリーズ（一般教育） 情報とネットワーク社会学 1版1刷	2,000	192

## 7. その他出版（重版）

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
2011年3月10日	IT textシリーズ 組込みシステム 1版2刷	400	266
2011年3月20日	IT textシリーズ（一般教育） 情報とコンピューティング 1版9刷	400	212
2011年3月25日	IT textシリーズ 自然言語処理 1版4刷	500	182
2011年3月25日	IT textシリーズ ソフトウェア工学演習 1版7刷	300	228
2011年4月25日	IT textシリーズ 情報と職業 1版9刷	700	222
2011年5月10日	IT textシリーズ 情報リテラシー 1版7刷	400	248
2011年6月10日	IT textシリーズ 人工知能 1版6刷	400	188
2011年8月30日	IT textシリーズ（一般教育） 情報とコンピューティング 1版10刷	400	212
2011年10月5日	IT textシリーズ データベース 1版11刷	1,200	196
2011年10月5日	IT textシリーズ 認知インタフェース 1版8刷	500	248
2011年12月5日	IT textシリーズ データマイニングの基礎 1版4刷	400	286
2012年1月20日	IT textシリーズ コンピュータアーキテクチャ 1版9刷	500	236
2012年1月20日	IT textシリーズ コンパイラとバーチャルマシン 1版9刷	400	212
2012年1月20日	IT textシリーズ オペレーティングシステム 1版15刷	1,500	230
2012年1月20日	IT textシリーズ ソフトウェア工学演習 1版8刷	300	228
2012年1月20日	IT textシリーズ アルゴリズム論 1版10刷	1,000	230
2012年1月20日	IT textシリーズ ソフトウェア開発 1版12刷	900	212
2012年1月20日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション 1版13刷	1,000	240
2012年2月10日	IT textシリーズ 情報と職業 1版10刷	700	222
2012年2月20日	IT textシリーズ 情報セキュリティ 1版9刷	300	268
2012年2月20日	IT textシリーズ 基礎Web技術 1版9刷	400	188
2012年2月20日	IT textシリーズ（一般教育） 情報システム基礎 1版5刷	500	218
2012年3月10日	IT textシリーズ Linux演習 1版5刷	400	210

---

---

## 付4 . 国際会議一覧

---

---

掲載は終了報告が完了した会議のみ

名称	開催年月	場所	参加数	内	
				海外参加	海外 共催団体
The 10th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2011)	2011年6月29日～7月1日	日本(神戸)	152名	52名	IEEE-CS
The 2011 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2011)	2011年7月18-22日	ドイツ(ミュンヘン)	161名		IEEE-CS
The Sixth International Workshop on Security (IWSEC2011)	2011年11月8-10日	日本(神戸)	91名	11名	---

---

---

## 付5. 表彰等

\*いずれも所属( )内)は選定当時、掲載は順不同、敬称略

---

### 1. 新名誉会員(1名) [2012年度定時総会(2012年6月)表彰][理事会(2012年1月)]

・安西祐一郎(日本学術振興会)

---

### 2. 功績賞(3名)・顕功賞:該当なし [2012年度定時総会(2012年6月)表彰][功績賞選定委員会(2012年3月)]

・木村 泉(元 中京大) ・勅使河原可海(創価大) ・村上篤道(三菱電機)

---

### 3. 新フェロー(11名) [第74回全国大会(2012年3月)表彰][フェロー選定委員会(2012年1月)]

・市川照久(静岡大) 「情報システム人材育成に関する研究とその実践活動に対する貢献」  
・岩間一雄(京大) 「離散アルゴリズムの設計と解析および計算量理論の研究に対する貢献」  
・亀山充隆(東北大) 「リアルワールド応用知能集積システムの先駆的研究」  
・串間和彦(NTT) 「マルチメディア情報検索に関する学術研究および学会運営への貢献」  
・柴山 潔(京都工芸繊維大) 「大学理工系学部の情報系専門教育カリキュラムとその教科書の開発」  
・住田一男(東芝) 「自然言語処理技術に基づくソフトウェアアプリケーションの実用化と人材育成」  
・武田浩一(日本IBM) 「機械翻訳・テキスト分析・質問応答システムの開発と実用化に対する貢献」  
・永持 仁(京大) 「離散最適化とグラフアルゴリズムに対する貢献」  
・新田恒雄(豊橋技科大) 「音声・マルチモーダル対話技術の実用化に対する貢献」  
・松原 仁(はこだて未来大) 「人工知能研究の成果の普及およびゲーム情報学とインタラクティブユティリティ研究領域創設への貢献」  
・村上和彰(九大) 「コンピュータシステムアーキテクチャ技術の発展に対する貢献」

---

### 4. 震災復興デザインコンテスト(2件2名) [第74回全国大会(2012年3月)表彰][コンテスト選定委員会(2012年2月)]

#### (1) 最優秀賞(1件)

・築谷喬之(三菱電機) 「ICカード乗車券を利用するスタンドアロン型避難支援デジタルサイネージ」

#### (2) 優秀賞(1件)

・吉永諭史(九州大) 「The Soul Net ~ 思いをつなぐ社会 ~」

---

### 5. ソフトウェアジャパンアワード(2件2名) [ソフトウェアジャパン2012(2012年2月)表彰]

・賀沢秀人(グーグル) 「Google Crisis Response」  
・関 治之(sinsai.info 総責任者/Georepublic Japan) 「Sinsai.info と Hack For Japan」

---

### 6. 論文賞(7件28名) [2012年度定時総会(2012年6月)表彰][論文賞選定委員会(2012年2月)]

#### (1) 情報処理学会論文賞

・遠隔ユーザのジェスチャの可視性を向上させる手法の提案と評価  
山下直美(NTT)、梶 克彦(名大)、葛岡英明(筑波大)、平田圭二、青柳滋巳(NTT)  
・手に保持されたセンサを用いた歩行者向けデッドレコニング手法の提案  
上坂大輔、村松茂樹(KDDI研)、岩本健嗣(富山県立大)、横山浩之(KDDI研)  
・架空名義操作不可能な施設配置メカニズムの特徴付け  
東藤大樹、岩崎 敦、横尾 真(九大)  
・WWWからの大規模動詞含意知識の獲得  
橋本 力、鳥澤健太郎(NICT)、黒田 航(京都工芸繊維大/早大)、  
デサーガステイン(NICT)、村田真樹(鳥取大)、風間淳一(NICT)  
・エラー検出可能な軽量3パーティ秘匿関数計算の提案と実装評価  
千田浩司、五十嵐大、濱田浩気、高橋克巳(NTT)

#### (2) Journal of Information Processing Outstanding Paper Award

・Ordered Types for Stream Processing of Tree-Structured Data Ryosuke Sato, Kohei Suenaga, Naoki Kobayashi(東北大)

#### (3) 情報処理学会論文誌 プログラミング 優秀論文賞

・Traceglasses: 欠陥の効率良い発見手法を実現するトレースに基づくデバッグ  
櫻井孝平(芝浦工大)、増原英彦(東大)、古宮誠一(芝浦工大)

7. 喜安記念業績賞 (3件14名、\* : 代表貢献者) [ 2012年度定時総会 (2012年6月) 表彰 ] [ 喜安記念業績賞選定委員会 (2012年2月) ]

- ・「議会の会議録作成のための音声認識システムの実用化」 \*河原達也、秋田祐哉、三村正人 (京大)、堀 貴明、小橋川哲 (NTT)
- ・「自動車向け狭域無線通信システムの通信基盤確立と標準化および実用化」 \*伊川雅彦、後藤幸夫、熊澤宏之、森田茂樹 (三菱電機)
- ・「C言語プログラムからLSIを高位合成する統合設計システムの実用化」 \*若林一敏、竹中 崇 (NEC)、高橋 渡、野田真一、中村寿彦 (NEC情報システムズ)

8. 長尾真記念特別賞 (3名) [ 2012年度定時総会 (2012年6月) 表彰 ] [ 長尾真記念特別賞選定委員会 (2012年2月) ]

- ・稲見昌彦 (慶大) 「身体性インタラクションに基づくエンタテインメントコンピューティングの研究」
- ・坂東幸浩 (NTT-AT) 「高臨場感通信のための次世代映像符号化に関する先駆的研究」
- ・峰野博史 (静岡大) 「ヘテロジニアスネットワークコンバージェンスに関する研究」

9. 山下記念研究賞 (51名) [ 第74回全国大会 (2012年3月) 表彰 ] [ 各領域委員会 (2011年7月) ]

< コンピュータサイエンス領域 >

- ・Trust Relations and Product Ratings on the Web [ データベースシステム ] 歐陽靖民 (NTT)
- ・MIGSOM: 神経細胞移動モデルに基づく自己組織化マップ~大規模リンクドデータへの応用~ [ データベースシステム ] 中山浩太郎 (東大)
- ・Feature Locationを用いたソースコード理解の対話的支援 [ ソフトウェア工学 ] 林 晋平 (東工大)
- ・Jacksonの要求・仕様参照モデルに基づく要求追跡の形式手法 [ ソフトウェア工学 ] 北村崇師 (産総研)
- ・プロセスばらつきを考慮したNoCアーキテクチャの検討 [ 計算機アーキテクチャ ] 中田洋平 (神戸大)
- ・SIMDアレイプロセッサにおけるマルチスレッド実装方式の検討 [ 計算機アーキテクチャ ] 野本祥平 (ルネサスエレクトロニクス)
- ・オーバーレイネットワークにおけるグループ間通信抑制手法 [ システムソフトウェアとオペレーティング・システム ] 長尾洋也 (東工大)
- ・仮想マルチプロセッサモデルに基づく高速SoCプロトタイピング手法 [ システムLSI設計技術 ] 吉田浩章 (東大)
- ・Simultaneous Allocation and Binding Considering Multiplexers in High-Level Synthesis [ システムLSI設計技術 ] 安積祐子 (立命館大)
- ・パケットペーシングを用いた最適全対全通信アルゴリズムのシミュレーション評価 [ ハイパフォーマンスコンピューティング ] 柴村英智 (九州先端研)
- ・ヘテロ型スーパーコンピュータTSUBAME 2.0のLinpackによる性能評価 [ ハイパフォーマンスコンピューティング ] 遠藤敏夫 (東工大)
- ・領域限定言語に基づく最適経路問合せ [ プログラミング ] 森畑明昌 (東北大)
- ・Undecidability of a Simple Origami Problem [ アルゴリズム ] 上原隆平 (北陸先端大)
- ・細胞分化クロストークのモデル化と細胞分化クロストーク遺伝子の推定手法 [ 数理モデル化と問題解決 ] 吉澤陽志 (富士通)
- ・静的コード解析による検出漏れのない割込み干渉検出手法の開発 [ 組み込みシステム ] 稲森 豊 (豊田中研)

< 情報環境領域 >

- ・Range-Key Skip Graphによる範囲検索可能な大規模分散キーバリューストアの実現 [ マルチメディア通信と分散処理 ] 石 芳正 (阪大)
- ・Network-based Local Mobility Management に基づく移動ネットワークプロトコルの実装と評価 [ マルチメディア通信と分散処理 ] 有田哲也 (NTTコミュニケーションズ)
- ・AntiSpoiler: ネタバレ防止ブラウザ [ ヒューマンコンピュータインタラクション ] 中村聡史 (京大)
- ・患者固有データに基づく手術手技訓練用シミュレータの開発 [ グラフィクスとCAD ] 緒方正人 (三菱プレジジョン)
- ・不偏な適格的自由行程サンプリングのための最適な空間分割に関する考察 [ グラフィクスとCAD ] 楽 詠瀬 (東大)
- ・意欲喚起と自学自習支援による情報システムクリエイタの育成 [ 情報システムと社会環境 ] 金寺 登 (石川高専)
- ・帰属文書数に基づくWebページ情報発信者の専門性分析 [ 情報基礎とアクセス技術 ] 加藤義清 (グーグル)
- ・ブロック適応時空間予測に基づいた動画像符号化の検討 [ オーディオビジュアル複合情報処理 ] 海野恭平 (日立)
- ・2次トリアージを用いた傷病者情報管理システムの提案 [ グループウェアとネットワークサービス ] 高橋祐樹 (慶大)
- ・TrueTypeフォントのUVS拡張を用いたAdobe CID字形集合の代替処理の高速化 [ デジタルドキュメント ] 鈴木俊哉 (広島大)
- ・モバイルノードを用いた建造物の位置および形状推定 [ モバイルコンピューティングとユビキタス通信 ] 藤井彩恵 (三菱電機)

- ・ Probabilistic Methods for Spatio-Temporal Coverage in People-Centric Sensing [モバイルコンピューティングとコピキタス通信] Ahmed Asaad (奈良先端大)
- ・ マルウェア動的解析オンラインサービスの脆弱性(その2) [コンピュータセキュリティ] 笠間貴弘 (NICT)
- ・ 開封時刻の秘匿性を持つ事前開封機能付きタイムリリース暗号の一般的な構成法 [コンピュータセキュリティ] 松田隆宏 (産総研)
- ・ GPSドップラーと慣性センサの統合による車両軌跡推定手法の提案 [高度交通システム] 目黒淳一 (豊田中研)
- ・ システムモデルベースSI支援環境による性能・可用性評価 [システム評価] 伊豆倉さやか (NEC)
- ・ ユーザ参加型動的ストリート画像フロー生成機構の設計 [コピキタスコンピューティングシステム] 石塚宏紀 (東大)
- ・ 個人必携パソコンによる情報環境 - 鳥取環境大学の事例 - [インターネットと運用技術] 齊藤明紀 (鳥取環境大)
- ・ HoUZK/JP - 手作りUSB HID を用いたシステム管理支援, 特殊入力装置作製, およびプレゼンテーション手法について [インターネットと運用技術] 大野浩之 (金沢大)

< フロントティア領域 >

- ・ ハブを作らないグラフ構築法を用いた半教師あり語義曖昧性解消 [自然言語処理] 小寺耕平 (奈良先端大)
- ・ モバイルエージェントに基づくP2P検索への意味レベル照合の実装手法に関する一考察 [知能システム] 福田直樹 (静岡大)
- ・ 反射・散乱の計測とモデル化 [コンピュータビジョンとイメージメディア] 向川康博 (阪大)
- ・ 画像化プロセスと画像ノイズ [コンピュータビジョンとイメージメディア] 高松 淳 (奈良先端大)
- ・ テレビゲームを通して情報科学を概観する教養教育科目の授業実践 [コンピュータと教育] 長瀧寛之 (岡山大)
- ・ 回路の製作を取り入れた計測・制御学習用基板の開発 [コンピュータと教育] 樋口大輔 (裾野市立東中学)
- ・ 人名典拠情報のAPIによる共有化と画像資料における人名情報参照システム [人文科学とコンピュータ] 研谷紀夫 (東大)
- ・ Sinsy: 「あの人に歌ってほしい」をかなえるHMM歌声合成システム [音楽情報科学] 大浦圭一郎 (名工大)
- ・ BandNavi: バンドメンバーの変遷情報を辿るアーティスト発見システム [音楽情報科学] 吉谷幹人 (ソネットエンタ)
- ・ ベイズ推論を用いた連続音声からの言語モデル学習 [音声言語情報処理] NEUBIG Graham (京大)
- ・ 非負値行列因子分解に基づく多人数会話における話者分類 [音声言語情報処理] 西田昌史 (同志社大)
- ・ WEB上の生命保険契約に関する一考察 [電子化知的財産・社会基盤] 井出 明 (追手門学院大)
- ・ ゲーム構成要素を組み合わせた特徴の最適化 [ゲーム情報学] 矢野友貴 (インターネットイニシアティブ)
- ・ 温冷呈示を利用したビデオゲームインタラクションにおけるその手法の検討と開発 [エンタテインメントコンピューティング] 馬場哲晃 (首都大学東京)
- ・ 複数生物種ネットワークの同時予測: 半教師つき学習によるアプローチ [バイオ情報学] 鹿島久嗣 (東大)
- ・ 期待精度最大化に基づくRNAシュドノット予測 [バイオ情報学] 加藤有己 (奈良先端大)
- ・ 市販ハイビジョンカメラを用いた講義ビデオ撮影加工システムの運用報告 [教育学習支援情報システム] 永井孝幸 (熊本大)

10. 大会優秀賞・大会奨励賞 [第74回全国大会(2012年3月)表彰] [第73回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞選定委員会]

(1) 大会優秀賞 (6名)

- ・ 伊波靖 (沖縄高専)
- ・ 加藤守 (三菱電機)
- ・ 佐藤哲 (楽天)
- ・ 西川記史 (東大)
- ・ 村松茂樹 (KDDI研)
- ・ 若林義啓 (広島国際学院大)

(2) 大会奨励賞 (10名)

- ・ 江田毅晴 (NTT)
- ・ 川崎仁史 (NTT)
- ・ 木村一樹 (農工大)
- ・ 小林義和 (東工大)
- ・ 進藤博子 (慶大)
- ・ 棚瀬直政 (神戸大)
- ・ 平野直樹 (東工大)
- ・ 三木香央理 (お茶女大)
- ・ 山田隆行 (総合研究大学院大)
- ・ 吉永諭史 (九大)

11. 教育賞 [第74回全国大会(2012年3月)表彰] [情報処理教育委員会(2012年1月)]

(1) 優秀教育賞 (1件)

- ・ 三上浩司 (東京工科大) 「プロジェクト演習「インタラクティブ・ゲーム制作」教育の提案と実践」

(2) 優秀教材賞 (2件)

- ・ 飯尾淳 (東京農工大) 「産学連携による実践的なIT エンジニア育成向け教材」
- ・ 岡田仁志 (NII) 「Flash を用いたインタラクティブな大学生向け情報セキュリティ教育コンテンツ」

12. 若手奨励賞 (19件40名)

[ 当該コンテストにて表彰 ] [ 若手奨励賞選定委員会 (2011年4月~2012年3月) ]

< 第17回スーパーコンピューティングコンテスト (2011年8月) >

・チーム PANAI (開成高) 村井翔悟、秀 郁未、笠浦一海 (開成高)

< 第22回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (2011年11月) 課題部門 >

・香川 (高松) 高専チーム “スマートアンブレラ” 矢野正人、助安 涼、米井裕紀、田口拓明、長谷川雄太 (香川高専)

< 第22回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (2011年11月) 自由部門 >

・東京高専チーム “All Lights! - 可視光通信による省電力照明システム - ”  
大川水緒、田畑愛実、赤松駿一、榊原裕章、中川理恵 (東京高専)

< 第22回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (2011年11月) 競技部門 >

・久留米高専チーム “Ikannoi Mk-II - この前のうどん美味しかったね - ” 大城泰平、坂田祐将、徳永 誠 (久留米高専)

< パソコン甲子園2011 プログラミング部門 (2011年11月) >

・笠浦一海、秀 郁未 (開成高) 村井翔悟、根本晃輔 (開成高)  
・中村健吾、猪俣 漸 (早稲田高)

< パソコン甲子園2011 デジタルコンテンツ部門 (2011年11月) >

・光成宏基、渡部佑也 (福山工業高) 新垣憂奈、当真早智衣 (沖縄工業高)  
・山本侑里、加藤早紀恵 (浜松工業高)

< ETロボコン2011 (2011年11月) >

・九州大学大学院 システム情報科学府情報学専攻 チーム「はばたき隊」  
山本淳一、金城 瞬、下平浩二、立石大悟 (九大)

< 第11回日本情報オリンピック (2012年3月) >

・笠浦一海 (開成高) 二階堂建人 (灘高) 村井翔悟 (開成高) 河田 旺 (高槻高)  
・秀 郁未 (開成高) 池田基樹 (都立産業技術高専) 北村 寛 (開成高) 劉 鴻志 (栄光学園高)

13. 学会活動貢献賞 / 感謝状

[ 第74回全国大会 (2012年3月) 表彰 ] [ 総務財務運営委員会 (2012年1月) ]

(1) 学会活動貢献賞: 「学会誌における編集業務への貢献」 (1名)

・塚本昌彦 (神戸大)

(2) 学会活動貢献賞: 「論文誌への査読貢献」 (3名)

・岡崎直宣 (宮崎大) 勝本道哲 (NICT) 吉野 孝 (和歌山大)

(3) 学会活動貢献賞: 「デジタルプラクティスへの査読貢献」 (1名)

・平山雅之 (日大)

14. FIT関連の各賞

[ FIT2011 (2011年9月) 表彰 ] [ FIT推進委員会 ]

(1) FIT2011 船井業績賞 (1名) 船井情報科学振興財団主催

・廣瀬 真人 (本田技研)

(2) FIT2011 船井ベストペーパー賞 (3件) 船井情報科学振興財団主催

・高解像度デプスマップによる超解像を用いた自由視点画像のデータ量削減 杉本志織、志水信哉・木全英明、松浦宣彦 (NTT)  
・電気自動車 (EV) 向けITS情報通信システムの開発と評価 服部有里子、下田智一 (三菱重工)、伊藤政義 (三菱自動車)  
・自動メカニズムデザインを利用した組合せオークションのルール抽出アルゴリズムの提案  
毛利貴之、杉町勇和、東藤大樹、横尾 真、岩崎 敦 (九大)

(3) FIT2011 論文賞 (4件)

・カラー難視性パターンを用いた情報付加手法における前景耐性改善の提案 金田北洋、岩村恵市、鬼頭祐太 (東理大)  
・SSLにおける暗号設定確認ツールの提案と評価  
佐藤亮太、吉田勝彦、知加良盛、関 良明、神田雅透、栢口 茂、平田真一 (NTT)  
・眼球運動分析による英語リスニング電子教材学習者を対象とした学習者の主観難易度推定法  
繁田亜友子、濱本和彦、野須 潔 (東海大)  
・Robinson型判定手法を用いた単語共起フィルタの検証 吉村卓也、藤井雄太郎 (名工大)、伊藤孝行 (名工大/東大)

(4) FIT2011 ヤングリサーチャー賞 (13名) FIT2012 (2012年9月) 表彰

・若木裕美 (東芝) 福岡直也 (阪大) 荒井大輔 (KDDI研) 君家一紀 (阪大)  
・寺島大雅 (諏訪東理大) 内田祐介 (KDDI研) 伊沢亮一 (神戸大) 孟南 (岩手県立大)

- ・安藤恵 (京大)
- ・鈴木貴敦 (東大)
- ・披田野清良 (早大)
- ・水岡良彰 (東芝)
- ・吉田大我 (NTT)

## 15. 情報規格調査会関連の表彰

- (1) 標準化功績賞 (3名) [情報規格調査会総会 (2011年7月) 表彰] [情報規格調査会]
- ・木戸彰夫 (日本IBM)
  - ・竇木和夫 (日立)
  - ・向井幹雄 (前 ソニー)
- (2) 標準化貢献賞 (8名) [情報規格調査会総会 (2011年7月) 表彰] [情報規格調査会]
- ・岡崎靖子 (日本IBM)
  - ・梶原清彦 (NTT)
  - ・木村 修 (富士通)
  - ・新崎 卓 (富士通研)
  - ・竹田栄作 (JIPDEC)
  - ・戸部美春 (NTT-AT)
  - ・橋本恵二 (東京国際大)
  - ・三村昌弘 (日立)
- (3) 国際規格開発賞 (14名: 19件) [情報規格調査会 技術委員会 表彰] [情報規格調査会]
- ・佐藤慶浩 (日本HP)
  - ・緒方日佐男 (日立オムロンターミナルソリューションズ, 2件)
  - ・浜 壮一 (富士通研, 2件)
  - ・岩元浩太 (NEC, 3件)
  - ・小川茂孝 (アイシーティールック)
  - ・杉本和夫 (三菱電機)
  - ・山田悦久 (三菱電機)
  - ・山田昭雄 (NEC)
  - ・新崎 卓 (富士通研, 2件)
  - ・高橋光裕 (IPA)
  - ・竹田栄作 (JIPDEC)
  - ・宮崎邦彦 (日立)
  - ・大塚 玲 (産総研)
  - ・松尾真一郎 (NICT)
- (4) 工業標準化事業功労者表彰 [工業標準化表彰式 (2011年10月) 表彰] [経済産業省]
- ・工業標準化事業表彰 内閣総理大臣表彰: 安田 浩 (東大/東京電機大)
  - ・工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰: 吉岡稔弘 (AI総研)、日立製作所
  - ・国際標準化貢献者表彰 (産業技術環境局長表彰): 小林龍生 (スコレックス)、篠木裕二 (情報処理学会)、関口正裕 (富士通)、妹尾孝憲 (NICT)、山田昭雄 (NEC)、原田 登 (NTT)、盛合志帆 (ソニー)、山本英朗 (NTT)

## 16. 支部関係

[各支部総会・支部連合大会等にて表彰] [各支部]

### <北海道>

- (1) 研究奨励賞 (5名) ・堀宮ありさ ・岩崎幸安 ・友田一平 ・小川 純 ・Kannenberg Sven
- (2) 学術研究賞 (1件) ・小林佑輔、川村秀憲、鈴木恵二
- (3) 技術研究賞 (2件) ・東 達也、吉川 毅、野中秀俊 ・巻口誉宗、吉川 浩、棟方 渚、小野哲雄
- (4) ポスター賞 (4名) ・辻本陽平 ・三串邦明 ・矢田和也 ・志村綾華
- (5) 工業高専奨励賞 (4名) ・長谷篤拓 ・小松田大貴 ・兒玉拓巳 ・市田和裕

### <東北>

- (1) 支部奨励賞、(2) 学生奨励賞、(3) 野口研究奨励賞

### <東海>

- (1) 電気関係学会東海支部連合大会奨励賞 (4名) ・伊藤貴之 ・渡部孝幸 ・三村明寛 ・村田匡輝
- (2) 支部学生論文奨励賞 (7名) ・池谷友基 ・一場利幸 ・岡谷 賢 ・荻原宏典 ・木村優志 ・櫻庭セルソ智 ・宮越喜浩

### <北陸>

- (1) 優秀論文発表賞 (7名) ・宮前潤一 ・木村太一 ・藤木裕之 ・山野真吾 ・宮崎小玉 ・花房秀光 ・山口龍太郎
- (2) 優秀学生表彰 (14名) ・島崎恭平 ・四折直紀 ・久世彩加 ・上田陽平 ・柳瀬 龍 ・高橋俊介 ・浅見健司
- ・中島清貴 ・浅井一真 ・三野哲志 ・山下和也 ・田保佳奈 ・柏 勇輔 ・寺尾 啓
- (3) 研究業績賞表彰 (1名) ・中村宗広

### <関西>

- (1) 学生奨励賞 (5名) ・福澤 優 ・和田耕太 ・石原 尚 ・櫻山文香 ・森 駿介 ・尾崎 俊

### <中国>

- (1) 支部優秀論文発表賞 (4名) ・川島哲哉 ・芹沢健太 ・舟木洋也 ・山口博之
- (2) 支部奨励賞 (11名) ・天野 光 ・木下 亮 ・柴田誠治 ・郷原哲也 ・左山紘平 ・肖 霄
- ・田中陽子 ・利元哲平 ・花田英人 ・松本 翔 ・三浦史也

### <四国>

- (1) 学生奨励賞、(2) 四国支部奨励賞

### <九州>

- (1) 支部奨励賞 (9名) ・谷岡稔真 ・菅 孝徳 ・田畑真奈美 ・秦野朱里 ・中西 惇
- ・木佐貴恵 ・北原基貴 ・下川尚人 ・菅井文郎



(1) 情報処理技術遺産(12件) ( )内は製造者、製造年

- ・東京大学生産技術研究所微解析機(トルク増幅機などの構成部品)(東京大学生産技術研究所、1953~1955年)
- ・HIPAC MK-1(日立製作所、1957年)
- ・MELCOM 1101(三菱電機、1963年頃)
- ・Busicom 141-PF(ビジコン、1971年頃)
- ・LSIパッケージMB11K搭載のMCCボード(富士通、1976年)
- ・神戸大学Lispマシン FAST LISP(神戸大学工学部システム工学科、1978~1979年)
- ・大阪大学EVLISマシン(大阪大学工学部応用物理学第一講座、1979~1982年)
- ・T1100(東芝、1985年)
- ・NEAC-1101(日本電気、1958年)
- ・ASPET/71光学的文字読取装置(東芝・電気試験所、1971年)
- ・NEACシステム100(日本電気、1974年)
- ・オートテラターミナルAT-20P(沖電気工業、1977年)

(2) 分散コンピュータ博物館(1件)

- ・NTT技術史料館(NTTの歴史的なコンピュータの展示エリア)

- ・Gauche の開発戦略 - 小規模プロジェクトこそ国際化を考えよう -

川合史朗(Scheme Arts, L.L.C.)

---